



第14回 定時社員総会・表彰式

2025 年 5 月 19 日

於 機械振興会館

一般社団法人 日 本 ゴ ム 協 会

東京都港区元赤坂 1 - 5 - 26 東部ビル

TEL. 03-3401-2957

URL : <https://www.srij.or.jp>

第14回定時社員総会・表彰式次第

一般社団法人日本ゴム協会

2025年5月19日（月）13：00～14：30

機械振興会館

◎第14回定時社員総会

司 会 理 事 中嶋 健

1. 開会の辞

2. 議 事 議 長

会長あいさつ

会 長 網野 直也

第1号議案 2024年度収支決算書類承認の件

理 事 岡本 正巳

2024年度監査報告 監 事 小薬 次郎

（報告事項）

1. 2024年度事業報告の件 理 事 河原 成元

2. 2025年度事業計画の件 理 事 河原 成元

3. 2025年度収支予算の件 理 事 岡本 正巳

第2号議案 名誉会員推戴の件 理 事 菊池 裕

第3号議案 2025・2026年度役員選任の件

理 事 渡邊 勝宏

新会長あいさつ 新会長

:.。.:° 表彰式 °:。.:*

司 会 理 事 鳥澤 浩司

1. 名誉会員推戴

圓藤紀代司 氏

山田 英介 氏

2. 第37回日本ゴム協会賞審査報告

委員長 網野 直也

受賞業績：アクティブトレッド技術開発

受 賞 者：住友ゴム工業株式会社 馬淵 貴裕 氏

住友ゴム工業株式会社 富崎由佳理 氏

住友ゴム工業株式会社 安田 理恵 氏

3. 第63回ゴム技術功績賞審査報告

委員長 松本 恭一

受 賞 者：大内 康平 氏

4. 第72回優秀論文賞審査報告 委員長 渡邊 順司

※本賞は、大内新興化学工業株式会社様の寄付金によって運営されています。

受賞論文：NBRの素練りがカーボンブラックの分散に及ぼす影響

岡本浩二氏・藤道治氏・中嶋健氏

受賞論文：時分割XAFSを用いた異なる加硫系のゴムにおける加硫時の亜鉛化合物の生成挙動に関する研究

澤田諭氏・近藤寛朗氏・中西洋平氏・

竹中幹人氏・柴田基樹氏・

藤波想氏・宮崎司氏

5. 第80回ゴム技術進歩賞審査報告

委員長 渡邊 智子

※本賞は、村岡ゴム工業株式会社様の寄付金によって運営されています。

研究課題：抗張積最大かつ熱老化試験後の抗張積保持率が最大のリサイクルゴム粉をブレンドした硫黄加硫天然ゴム

受 賞 者：三ツ星ベルト株式会社 逸見 祐介 氏

6. 第17回日本ゴム協会科学技術奨励賞審査報告

委員長 山本 勝宏

研究の名称：二酸化炭素によって物性・機能の制御可能なエラストマー材料の開発

受 賞 者：岐阜大学 三輪 洋平 氏

7. 第18回CERI若手奨励賞審査報告

委員長 山本 勝宏

※本賞は、一般財団法人化学物質評価研究機構様の寄付金によって運営されています。

研究の名称：Rheo - Raman分光法を用いたゴム・エラストマー材料の力学挙動解析

受 賞 者：滋賀県立大学

木田 拓充 氏

8. 第16回ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞

委員長 山本 勝宏

※本賞は、株式会社ブリヂストン様の寄付金によって運営されています。

フロンティア賞

研究の名称：未踏の力学物性を示す高均一ゴムの創製

受 賞 者：東京大学

中川慎太郎 氏

奨励賞

研究の名称：伸長誘起結晶化を利用した高分子網目・イオン液体複合材料の強靱化

受 賞 者：岐阜大学

橋本 慧 氏

9. 第35回エラストマー討論会第34回CERI最優秀発表論文賞

※本賞は、一般財団法人化学物質評価研究機構様の寄付金によって運営されています。

研究の名称：末端刺激分解型ポリロタキサン添加による海洋生分解性高分子材料の強靱化とスイッチング分解

受 賞 者：東京大学大学院

安藤 翔太 氏

東京大学大学院 伊藤 耕三 氏

2024年度事業報告

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

I. 事業の状況

1. 学術及び生産技術の研究及び調査（定款第4条第1号）

(1) 2024年年次大会（第13回定時社員総会）

日時 2024年5月30日（木）・31日（金）

会場 名古屋市中小企業振興会館

総会出席者（代理行使を含む）49名

研究発表83件（うち若手発表31件）登録者数290名

(2) 第35回エラストマー討論会

日時 2024年12月3日（火）・4日（水）

会場 大阪大学中之島センター

研究発表103件（うち若手発表41件）登録者数276名

2. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条第2号）

(1) 研究部会

13の研究分科会において、定期的に研究会を開催し、最新の課題について調査・研究・討論を行った。また、ゴム・エラストマー若手研究分科会を新設し、活動の方向性を決定し、活動を開始した。

(2) 顕彰関係

当該各委員会において各賞受賞者の選考と推薦を行った。

3. 講演会の開催（定款第4条第3号）

(1) 第58回夏期講座 テーマ：周辺技術を学び、ゴムの可能性を広げよう

日時 2024年8月8日（木）・9日（金）

会場 ブリヂストン奥多摩園A研修室 参加者74名

(2) 研究分科会において得られた専門的成果に基づいて、会員ならびに一般ゴム科学技術者の研鑽に資するため、分科会主催のシンポジウム・力学入門コース計11回を開催した。

(3) 各支部では、毎月適切なテーマをとりあげて講演会、講習会、セミナー等を開催した。各支部の行事数は下記のとおりである。

関東支部 講習会2回、講演会2回、紹介講演会1回、セミナー2回、見学会1回、交流会1回、初級ゴム技術研修会（化学物質評価研究機構と共催）

東海支部 講習会1回、講演会3回、紹介講演会1回、

見学会1回、セミナー1回

関西支部 講習会1回、講演会5回、紹介講演会1回、サタデーセミナー6回、見学会1回、交流会1回、若手セミナー5回

九州支部 講演会2回、事例発表会1回、技術講座1回、交流会2回

4. 会誌及び図書の刊行（定款第4条第4号）

(1) 日本ゴム協会誌の発行

2024年において会員へのゴム技術情報提供及び学術推進のための機関誌「日本ゴム協会誌」第97巻12冊（普通号7冊、特集号5冊）を定期的に発行した。論文や総説等で372頁、会告で512頁、年間総頁数が884頁であった。

なお、発行において以下の企画を推進した。

①ゴム技術を中心に周辺技術やソフトマテリアル材料に関するタイムリーな情報を提供した。

②今日的なテーマ及びゴム固有のテーマ等で研究部会の協力も得て、特集を定期的に組んだ。

③わが国で編集発行するゴム技術論文誌として、高いレベルで審査、発行した。

④年次大会及びエラストマー討論会の研究発表やIRC、IRCC、あるいはISO/TC45国際会議などの海外におけるソフトマテリアル関連の参加記を掲載し、会員への情報提供に努めた。

(2) 出版関係

電子ジャーナル(e-Journal of Soft Materials), eJSM Vol. 20(2024)の原著論文はなかった。

5. 見学及び視察（定款第4条第5号）

(1) 国際交流

9月のIRC 2024 Istanbulに代表を派遣した。

(2) 各支部で会員ならびに一般ゴム科学技術者の資質向上を目的に見学会を行った。

6. 会員の交流（定款第4条第6号）

(1) 会員活動の充実と会員増強

関係各位ならびに各支部の協力により入会の勧誘を行った。

7. 関係官庁及び関係団体等の諮問に対する答申又は建

議（定款第4条第7号）

- (1) 研究部会では必要に応じて関係官庁及び関連団体の諮問に応じた。
- (2) ゴム及びゴム製品に係る標準化活動

1. 国際標準開発全般

「日本のゴム関連企業の有する優れた技術と高い品質(Japan Quality)を示すことができ、日本製品の優位性が見える化する。」ことを命題として規格開発を戦略的に進めた。特に、「合成ゴムのコールドフローの求め方」については、新規案件(NP)投票の結果、必要な5か国を上回り、日本含めて7か国の積極的参加を得、また国際会議での有用な意見を得て、CDステージに進む事ができた。併せて、日本提案の改訂案件として「原料ゴム及びラテックスの略号」(TC45/WG10)も、DIS投票後の国際会議で、FDISをスキップして直接発行が認められた。その他の改訂案件を含め、何れもそれぞれの計画に沿って確実に実施し、成果報告に繋げることができた。

①ISO開発：本年度TC45からは34件の規格が発行され、その内「免震用積層ゴム支承—第1部：試験方法」や「ゴム—試験法の精度の求め方」、「気象用バルーン」などの16件が日本提案である。継続する重点テーマとして「揮発性硫黄ガスの定量方法」と「引布の吸水性試験法」の規格開発に注力した。また、日本品質の見える化／格差付けを狙った継続案件12件、本年度から新規に開始した規格4件を中心に確実にISO発行あるいは次の段階へ進展させた。更に、定期見直し56件の審議を行なった。実施に当っては国内での戦略的な審議を踏まえ、13年ぶりの日本開催会議となった奈良でのホスト国としての役割と共に、ISO国際会議への積極的な参加と提言、更に関係官庁及び関係団体の諮問に対する答申・連絡を心がけた。

②JIS開発：「ホース及びホースアセンブリの耐圧性」1件のJISが発行された。また、28件の定期見直しを行った。更に「加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—熱老化特性の求め方」や「加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—フレクソメータによる温度上昇及び耐疲労性の求め方」など5件のJIS原案を作成し、提出する事ができた。

③国際会議：3回目となる日本開催として奈良でのホストを務めた。日本開催のため、開催されたすべてのワーキンググループ会議に総勢85名で出席し、審議案件についての意見を発信し、ISO規格発行及びステージアップに貢献した。また、優

れた日本の技術を標準化して行く「揮発性硫黄ガスの定量方法」(SC2/WG5)や、「土壌・堆積物中のタイヤ・道路摩耗粉塵の定量方法」(TC45/WG16)のプレゼンテーションを行い、次のステージに進む事が、承認された。その他、日本の改訂案件として「有機化学薬品—評価方法」(SC3/WG3)や「引布の吸水性試験法」(SC4/WG13)についての投票時コメントへの対応方針を説明し、次のステージに進む事が、承認された。

2. 新規テーマ創出：継続して、「日本のゴム関連企業の有する優れた技術と高い品質(Japan Quality)を示すことができ、日本製品の優位性が見える化する。」為の規格化テーマの創出を引続き行っている。既に、「免震用積層ゴム支承」や「耐オゾン性評価方法」、「ホースの水分透過性評価方法」として、ISO規格化3件を新規開発テーマとして申請している。
3. 委員会構成、人材面：前年度と同様に、ISO/TC45国内審議委員会活動の為の14分科会の体制で実施した。事務局は従来の体制で継続した。
4. 関連団体との連携強化：友好団体はもとより、自動車技術会、プラスチック工業連盟、日本試験機工業会、日本溶接協会、日本産業機械工業会、水素供給利用技術研究協会、日本エルピーガス供給機器工業会、日本寝装寝具協会、日本免震構造協会、建築ガasket協会等との関係を強化し、ISO/TC45関連の標準化活動を更に連携した活動として実施した。
8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第8号）

- (1) IRC2026 AICHI開催にむけ、基金活動等の準備を進めた。
- (2) 2021年度に導入したSMMS会員管理システムを用いて会員サービスを順次拡大中であり、会員向けの情報発信を行った。
- (3) 日本語版ホームページは定期的なメンテナンスにより、会員及び会員外への最新情報を発信できる体制を強化した。
- (4) メールマガジンを定期的に配信した。
- (5) 活性化策として、支部・本部合同の活動として三大行事の活性化活動を展開中である。

Ⅱ．処務の概況

① 役員に関する事項

理事 定数：15名以上20名以内 現在：20名 任期：2年

監事 定数：1名以上 3名以内 現在：3名 任期：2年

職 名	氏 名	現 職
理 事(会 長)	網野 直也	横浜ゴム株式会社
理 事(副会長)	大月 正珠	株式会社ブリヂストン
理 事(副会長)	河原 成元	長岡技術科学大学
理 事(副会長)	岡本 正巳	豊田工業大学
理 事(副会長)	櫻井 伸一	京都工芸繊維大学
理 事	加藤 進一	株式会社加藤事務所
理 事	菊池 裕	興国インテック株式会社
理 事	中嶋 健	東京科学大学
理 事	山岸 英哲	日本ゼオン株式会社
理 事	山崎 聡	三井化学株式会社
理 事	渡邊 智子	一般財団法人化学物質評価研究機構
理 事	近藤 新一	西武ポリマ化成株式会社
理 事	鳥澤 浩司	東海興業株式会社
理 事	山本 勝宏	名古屋工業大学
理 事	菊地 尚彦	住友ゴム工業株式会社
理 事	北川 紀樹	株式会社大阪ソーダ
理 事	原野 健一	株式会社アシックス
理 事	松本 恭一	中西金属工業株式会社
理 事	渡邊 順司	甲南大学
理 事	渡邊 勝宏	久留米工業高等専門学校
監 事	小薬 次郎	鬼怒川ゴム工業株式会社
監 事	長谷 朝博	産業技術総合研究所
監 事	村上 裕人	長崎大学

② 職員に関する事項

職 名	常勤・非常勤	人数・無給者	他機関との兼任者	備考
事務局長	常 勤	1名 ・ 0名	0 名	
職 員	常 勤	3名 ・ 0名	0 名	

③ 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2024年4月30日	2024年度第1回理事会 審議事項 (1) 2024年度組織図・活動方針・事業計画の件 (2) 1・2・3月度会員移動の件 (3) 2023年度事業報告・収支決算の件 (4) 2024年度事業計画・収支予算の件 (5) 組織委員会：顕彰関連規定見直しの件 報告事項・その他 (6) JIS T9010廃止についての件 (7) 各委員会活動の件 (8) 第13回定時社員総会・表彰式の件 (9) 研究部会幹事・主査会開催の件 (10) 標準化部門活動の件 (11) 2024年年次大会(第13回定時社員総会)開催の件 (12) 第58回夏期講座開催の件 (13) 第35回エラストマー討論会開催の件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
2024年8月1日	2024年度第2回理事会 審議事項 (1) 2024年度組織図・活動方針・事業計画の件 (2) 4・5・6月度会員移動の件 (3) 財務委員会：第一四半期終了時点の収支予算月報の件 (4) 顕彰関連の件 報告事項・その他 (5) 各委員会活動の件 (6) 各支部事業計画及び予算の件 (7) 2024年年次大会(第13回定時社員総会)開催の件 (8) 第58回夏期講座開催の件 (9) 第35回エラストマー討論会開催の件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

2024年10月31日	2024年度第3回理事会 審議事項 (1) 2024年度組織図・活動方針・事業計画の件 (2) 7・8・9月度会員移動の件 (3) 各委員会活動の件 報告事項・その他 (4) 財務部門報告の件 (5) 中国とのMOU更新の件 (6) ゴム・エラストマー若手研究分科会の件 (7) 第58回夏期講座開催の件 (8) 第35回エラストマー討論会開催の件 (9) 2025年年次大会(第14回定時社員総会)開催の件 (10) 顕彰関連の件 (11) IRC2024Istanbul参加報告の件 (12) IRC2026 AICHI進捗状況報告の件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
2025年1月27日	2024年度第4回理事会 審議事項 (1) 2024年度組織図・活動方針・事業計画の件 (2) 10・11・12月度会員移動の件 (3) 12月度収支決算報告の件 (4) 2024年度事業報告(案)の件 (5) 2025年度事業計画(案)の件 (6) 2024年度第1回優秀論文賞推薦委員会の件 報告事項・その他 (7) 各委員会活動の件 (8) 顕彰部門活動の件 (9) 第35回エラストマー討論会開催の件 (10) 2025年年次大会(第14回定時社員総会)開催の件 (11) 第59回夏期講座開催の件 (12) 研究部会活動の件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 第13回定時社員総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2024年5月30日	第1号議案 2023年度収支決算書類承認の件 2023年度監査報告 報告事項 1. 2023年度事業報告の件 2. 2024年度事業計画の件 3. 2024年度収支予算の件 第2号議案 IRC2026特別協賛金承認の件 第3号議案 名誉会員推戴の件	全会一致にて承認 全会一致にて承認 全会一致にて承認 全会一致にて承認 全会一致にて承認 全会一致にて承認 全会一致にて承認

④ 認可、承認、証明に関する事項 該当なし

⑤ 契約に関する事項 //

⑥ 寄付金に関する事項 //

⑦ その他の重要事項 //

⑧ 会員の異動状況(下表の通り) 該当あり

社員・会員別入退会表

会員種別	前年度末	本年度 入会	本年度 退会	現会員数	増 減
正会員	1,314 名	157 名	131 名	1,340 名	26 名
学生会員	111 名	64 名	40 名	135 名	24 名
名誉会員	13 名	2 名	1 名	14 名	1 名
賛助会員 社数	389 社	12 社	7 社	394 社	5 社
口数	697 口	12 口	9 口	700 口	3 口
計	1,827	235	179	1,883	56

2024年度決算報告

(2024年4月 1 日から2025年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

貸借対照表総括表

2025年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	49,282,165	4,971	18,586,915	0	67,874,051
現金	363,589	0	313,322	0	676,911
定期預金	3,032,029	0	3,016,260	0	6,048,289
普通預金	39,598,169	4,971	15,257,333	0	54,860,473
振替貯金	1,966,508	0	0	0	1,966,508
郵便貯金	1,321,870	0	0	0	1,321,870
定額貯金	3,000,000	0	0	0	3,000,000
未収入金	1,777,800	2,015,036	0	-1,673,607	2,119,229
在庫商品	0	0	410,715	0	410,715
貯蔵品	0	499,730	0	0	499,730
立替金	0	0	0	0	0
前払費用	0	0	75,548	0	75,548
仮払金	0	0	1,124,378	-880,000	244,378
流動資産合計	51,059,965	2,519,737	20,197,556	-2,553,607	71,223,651
2. 固定資産					0
(1) 基本財産					0
基本財産引当預金	5,000,000	0	0	0	5,000,000
基本財産合計	5,000,000	0	0	0	5,000,000
(2) 特定資産					0
退職積立預金	2,899,114	0	0	0	2,899,114
国際会議基金	25,240,842	0	0	0	25,240,842
国際交流基金	13,045,294	0	0	0	13,045,294
日本ゴム協会賞基金	4,375,845	0	0	0	4,375,845
ゴム技術功績賞基金	2,029,906	0	0	0	2,029,906
ゴム科学技術奨励金基金	1,979,907	0	0	0	1,979,907
オーエンスレーガー賞基金	217,514	0	0	0	217,514
特定資産合計	49,788,422	0	0	0	49,788,422
(3) その他固定資産					0
什器備品	74,068	0	0	0	74,068
電話加入権	0	0	42,000	0	42,000
事務所保証金	1,200,000	0	0	0	1,200,000
その他固定資産合計	1,274,068	0	42,000	0	1,316,068
固定資産合計	56,062,490	0	42,000	0	56,104,490
資産合計	107,122,455	2,519,737	20,239,556	-2,553,607	127,328,141
II 負債の部					0
1. 流動負債					0
未払金	2,835,999	0	336,336	-1,673,607	1,498,728
会費前受金	30,186,670	0	0	0	30,186,670
仮受金	3,282,490	0	1,925,800	-880,000	4,328,290
I R C 仮受金	10,000,000	0	0	0	10,000,000
流動負債合計	46,305,159	0	2,262,136	-2,553,607	46,013,688
2. 固定負債					0
退職給付引当金	4,640,362	411,370	0	0	5,051,732
固定負債合計	4,640,362	411,370	0	0	5,051,732
負債合計	50,945,521	411,370	2,262,136	-2,553,607	51,065,420
III 正味財産の部					0
1. 指定正味財産					0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産	56,176,934	2,108,367	17,977,420	0	76,262,721
(うち基本財産への充当額)	5,000,000	0	0	0	5,000,000
(うち特定資産への充当額)	46,889,308	0	0	0	46,889,308
正味財産合計	56,176,934	2,108,367	17,977,420	0	76,262,721
負債及び正味財産合計	107,122,455	2,519,737	20,239,556	-2,553,607	127,328,141

正味財産増減計算書総括表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	100	0	0	0	100
基本財産運用益	100	0	0	0	100
特定資産運用益	21,311	0	0	0	21,311
受取入会金	104,000	0	0	0	104,000
入会金	104,000	0	0	0	104,000
受取会費	36,566,970	0	0	0	36,566,970
賛助会費	24,640,600	0	0	0	24,640,600
正会費	11,478,620	0	0	0	11,478,620
学生会費	447,750	0	0	0	447,750
事業収益	37,430,114	1,108,288	21,973,160	-7,592,102	52,919,460
広告料収益	10,771,200	0	0	0	10,771,200
会員外購読料収益	541,260	0	0	0	541,260
バックナンバー収益	0	0	0	0	0
本部行事収益	10,209,162	0	0	0	10,209,162
年次大会収益	3,649,212	0	0	0	3,649,212
夏期講座収益	3,052,750	0	0	0	3,052,750
討論会収益	3,507,200	0	0	0	3,507,200
研究部会収益	9,655,300	0	0	0	9,655,300
委員参加収益	2,525,600	0	0	0	2,525,600
行事収益	7,129,700	0	0	0	7,129,700
出版物収益	0	1,108,288	222,400	0	1,330,688
ゴム技術基礎収益	0	930,424	0	0	930,424
ゴム用語辞典収益	0	93,428	0	0	93,428
ゴム技術入門収益	0	79,629	0	0	79,629
免震ハンドブック	0	4,807	0	0	4,807
東海支部	0	0	222,400	0	222,400
印税収益	0	0	0	0	0
業務受託収益	5,859,942	0	0	-5,859,942	0
交付金収益	0	0	1,632,160	-1,632,160	0
講演会収益	0	0	4,631,800	-100,000	4,531,800
講習会収益	0	0	10,889,200	0	10,889,200
見学会収益	0	0	510,500	0	510,500
セミナー収益	0	0	3,371,600	0	3,371,600
交流会収益	0	0	442,500	0	442,500
会議費収益	0	0	273,000	0	273,000
別刷り代収益	393,250	0	0	0	393,250
受取寄付金	1,590,000	0	0	0	1,590,000
雑収益	527,131	153,705	24,543	0	705,379
雑収益	527,131	153,705	24,543	0	705,379
経常収益計	76,239,626	1,261,993	21,997,703	-7,592,102	91,907,220
(2) 経常費用					0
事業費	54,047,819	2,406,491	22,304,208	-7,592,102	71,166,416
会議費	122,156	0	1,472,766	0	1,594,922
表彰費	1,982,250	0	0	0	1,982,250
普及費	4,916,436	0	0	0	4,916,436
旅費交通費	132,282	0	526,738	0	659,020
通信費	198,563	0	701,676	0	900,239
印刷費	312,400	0	39,600	0	352,000
支部費	1,732,160	0	0	-1,732,160	0
本部行事費	7,647,718	0	0	0	7,647,718
年次大会費	2,554,144	0	0	0	2,554,144
夏期講座費	1,429,538	0	0	0	1,429,538
討論会費	3,664,036	0	0	0	3,664,036
雑誌費	15,868,973	0	0	0	15,868,973
編集費	3,355,070	0	0	0	3,355,070
印刷費	9,292,756	0	0	0	9,292,756
発送費	2,723,678	0	0	0	2,723,678
原稿料	497,469	0	0	0	497,469
研究部会費	4,045,609	0	0	0	4,045,609
会議費	2,050,051	0	0	0	2,050,051
行事費	1,995,558	0	0	0	1,995,558
出版費	0	306,653	0	0	306,653
事務所費	0	252,740	0	0	252,740
事務費	0	53,913	0	0	53,913
書籍購入費	0	301,070	0	0	301,070

正味財産増減計算書総括表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
国 際 交 流 費	200,000	0	0	0	200,000
国 際 会 議 費	3,532,871	0	0	0	3,532,871
人 件 費	13,356,401	1,521,910	9,979,172	-4,974,942	19,882,541
給 料 手 当	10,994,624	1,252,796	9,979,172	-4,974,942	17,251,650
厚 生 費	1,792,796	204,279	0	0	1,997,075
通 勤 費	279,336	31,830	0	0	311,166
中 退 共 済 掛 金	172,188	19,620	0	0	191,808
退 職 給 付 費 用	117,457	13,385	0	0	
講 演 会 費	0	0	3,005,518	0	3,005,518
講 習 会 費	0	0	2,138,925	0	2,138,925
見 学 会 費	0	0	341,320	0	341,320
セ ミ ナ ー 費	0	0	1,270,757	0	1,270,757
交 流 会 費	0	0	553,880	0	553,880
消 耗 品 費	0	0	223,879	0	223,879
事 務 所 費	0	0	1,570,166	-885,000	685,166
書 籍 代	0	0	269,880	0	269,880
公 租 公 課	0	276,418	70,468	0	346,886
雑 費	0	440	139,463	0	139,903
管 理 費	25,086,133	0	0	0	25,086,133
会 議 費	962,619	0	0	0	962,619
旅 費 交 通 費	702,569	0	0	0	702,569
通 信 費	969,853	0	0	0	969,853
消 耗 品 費	142,852	0	0	0	142,852
事 務 所 費	4,384,555	0	0	0	4,384,555
事 務 費	935,194	0	0	0	935,194
雑 費	2,182,155	0	0	0	2,182,155
人 件 費	13,046,438	0	0	0	13,046,438
給 料 手 当	10,739,473	0	0	0	10,739,473
厚 生 費	1,751,188	0	0	0	1,751,188
通 勤 費	272,854	0	0	0	272,854
中 退 共 済 掛 金	168,192	0	0	0	168,192
退 職 給 付 費 用	114,731	0	0	0	
公 租 公 課	1,699,266	0	0	0	1,699,266
減 価 償 却 費	60,632	0	0	0	60,632
経常費用計	79,133,952	2,406,491	22,304,208	-7,592,102	96,252,549
評価損益等調整前当期経常増減額	-2,894,326	-1,144,498	-306,505	0	-4,345,329
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-2,894,326	-1,144,498	-306,505	0	-4,345,329
2. 経常外増減の部					0
(1) 経常外収益					0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-2,894,326	-1,144,498	-306,505	0	-4,345,329
他 会 計 振 替 額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,894,326	-1,144,498	-306,505	0	-4,345,329
一般正味財産期首残高	59,071,260	3,252,865	18,283,925	0	80,608,050
一般正味財産期末残高	56,176,934	2,108,367	17,977,420	0	76,262,721
Ⅱ 指定正味財産増減の部					0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	56,176,934	2,108,367	17,977,420	0	76,262,721

収支計算書総括表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
基本財産運用収入	100	0	0	0	100
基本財産運用収入	100	0	0	0	100
特定資産運用収入	2,726	0	0	0	2,726
入金金収入	104,000	0	0	0	104,000
入金金収入	104,000	0	0	0	104,000
会費収入	36,566,970	0	0	0	36,566,970
賛助会費収入	24,640,600	0	0	0	24,640,600
正会費収入	11,478,620	0	0	0	11,478,620
学生会費収入	447,750	0	0	0	447,750
事業収入	37,430,114	1,108,288	21,973,160	-7,592,102	52,919,460
広告料収入	10,771,200	0	0	0	10,771,200
会員外購読料収入	541,260	0	0	0	541,260
バックナンバー収入	0	0	0	0	0
本部行事収入	10,209,162	0	0	0	10,209,162
年次大会収入	3,649,212	0	0	0	3,649,212
夏期講座収入	3,052,750	0	0	0	3,052,750
討論会収入	3,507,200	0	0	0	3,507,200
研究部会収入	9,655,300	0	0	0	9,655,300
委員参加収入	2,525,600	0	0	0	2,525,600
行事収入	7,129,700	0	0	0	7,129,700
出版物収入	0	1,108,288	222,400	0	1,330,688
ゴム技術基礎収入	0	930,424	0	0	930,424
ゴム用語辞典収入	0	93,428	0	0	93,428
ゴム技術入門収入	0	79,629	0	0	79,629
免震ハンドブック	0	4,807	0	0	4,807
東海支部	0	0	222,400	0	222,400
印税収入	0	0	0	0	0
業務受託収入	5,859,942	0	0	-5,859,942	0
交付金収入	0	0	1,632,160	-1,632,160	0
講演会収入	0	0	4,631,800	-100,000	4,531,800
講習会収入	0	0	10,889,200	0	10,889,200
見学会収入	0	0	510,500	0	510,500
セミナー収入	0	0	3,371,600	0	3,371,600
交流会収入	0	0	442,500	0	442,500
会議費収入	0	0	273,000	0	273,000
別刷り代収入	393,250	0	0	0	393,250
寄付金収入	1,590,000	0	0	0	1,590,000
雑収入	527,131	153,705	24,543	0	705,379
雑収入	527,131	153,705	24,543	0	705,379
他会計からの繰入額	0	0	0	0	0
事業活動収入計	76,221,041	1,261,993	21,997,703	-7,592,102	91,888,635
2. 事業活動支出					
事業費支出	53,930,362	2,092,036	22,304,208	-7,592,102	70,734,504
会議費支出	122,156	0	1,472,766	0	1,594,922
表彰費支出	1,982,250	0	0	0	1,982,250
普及費支出	4,916,436	0	0	0	4,916,436
旅費交通費支出	132,282	0	526,738	0	659,020
通信費支出	198,563	0	701,676	0	900,239
印刷費支出	312,400	0	39,600	0	352,000
支部費支出	1,732,160	0	0	-1,732,160	0
本部行事費支出	7,647,718	0	0	0	7,647,718
年次大会費支出	2,554,144	0	0	0	2,554,144
夏期講座費支出	1,429,538	0	0	0	1,429,538
討論会費支出	3,664,036	0	0	0	3,664,036
雑誌費支出	15,868,973	0	0	0	15,868,973
編集費支出	3,355,070	0	0	0	3,355,070
印刷製本費支出	9,292,756	0	0	0	9,292,756
発送費支出	2,723,678	0	0	0	2,723,678
原稿料支出	497,469	0	0	0	497,469
研究部会費支出	4,045,609	0	0	0	4,045,609
会議費支出	2,050,051	0	0	0	2,050,051
行事費支出	1,995,558	0	0	0	1,995,558
国際交流費支出	200,000	0	0	0	200,000
国際会議費支出	3,532,871	0	0	0	3,532,871
出版費支出	0	306,653	0	0	306,653
印刷費支出	0	0	0	0	0

収支計算書総括表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
事務所費支出	0	252,740	0	0	252,740
事務費支出	0	53,913	0	0	53,913
書籍購入費支出	0	0	0	0	0
人件費支出	13,238,944	1,508,525	9,979,172	-4,974,942	19,751,699
給料手当支出	10,994,624	1,252,796	9,979,172	-4,974,942	17,251,650
福利厚生費支出	1,792,796	204,279	0	0	1,997,075
通勤費支出	279,336	31,830	0	0	311,166
中退掛金支出	172,188	19,620	0	0	191,808
退職金支出	0	0	0	0	0
講演会費支出	0	0	3,005,518	0	3,005,518
講習会費支出	0	0	2,138,925	0	2,138,925
見学会費支出	0	0	341,320	0	341,320
セミナー費支出	0	0	1,270,757	0	1,270,757
交流会費支出	0	0	553,880	0	553,880
消耗品費支出	0	0	223,879	0	223,879
事務所費支出	0	0	1,570,166	-885,000	685,166
書籍代支出	0	0	269,880	0	269,880
公租公課支出	0	276,418	70,468	0	346,886
雑支出	0	440	139,463	0	139,903
他会計への繰出額	0	0	0	0	0
管理費支出	24,910,770	0	0	0	24,910,770
会議費支出	962,619	0	0	0	962,619
旅費交通費支出	702,569	0	0	0	702,569
通信費支出	969,853	0	0	0	969,853
消耗品費支出	142,852	0	0	0	142,852
事務所費支出	4,384,555	0	0	0	4,384,555
事務費支出	935,194	0	0	0	935,194
雑支出	2,182,155	0	0	0	2,182,155
人件費支出	12,931,707	0	0	0	12,931,707
給料手当支出	10,739,473	0	0	0	10,739,473
福利厚生費支出	1,751,188	0	0	0	1,751,188
通勤費支出	272,854	0	0	0	272,854
中退掛金支出	168,192	0	0	0	168,192
退職金支出	0	0	0	0	0
公租公課支出	1,699,266	0	0	0	1,699,266
事業活動支出計	78,841,132	2,092,036	22,304,208	-7,592,102	95,645,274
事業活動収支差額	-2,620,091	-830,043	-306,505	0	-3,756,639
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入	3,581,619	0	0	0	3,581,619
退職積立基金	0	0	0	0	0
国際会議基金	3,031,179	0	0	0	3,031,179
国際交流基金	200,440	0	0	0	200,440
日本ゴム協会賞基金	50,000	0	0	0	50,000
日本ゴム功績賞基金	100,000	0	0	0	100,000
ゴム科学技術奨励金基金	200,000	0	0	0	200,000
投資活動収入計	3,581,619	0	0	0	3,581,619
2. 投資活動支出					
固定資産取得支出	0				
投資活動支出計	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	3,581,619	0	0	0	3,581,619
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
当期収支差額	961,528	-830,043	-306,505	0	-175,020
前期繰越収支差額	13,793,278	2,850,050	18,241,925	0	34,885,253
次期繰越収支差額	14,754,806	2,020,007	17,935,420	0	34,710,233

財産目録

2025年 3月31日現在

一般社団法人 日本ゴム協会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	67,874,051		
現金手許有高	676,911		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	3,032,029		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店(関東)	1,010,337		
定期預金 名古屋銀行 川原通支店(東海)	2,005,923		
普通預金 みずほ銀行 虎ノ門支店	10,373,030		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	21,827,359		
普通預金 三菱UFJ銀行 本店	7,397,780		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店(収益)	4,971		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店(関東)	1,875,065		
普通預金 三菱UFJ銀行 今池支店(東海)	3,545,799		
普通預金 名古屋銀行 川原通支店(東海)	759,770		
普通預金 三井住友銀行 鶴橋支店(関西)	5,941,416		
振替口座 ゆうちょ銀行	1,966,508		
通常貯金 ゆうちょ銀行	1,321,870		
通常貯金 ゆうちょ銀行 (九州)	3,135,283		
定額貯金 ゆうちょ銀行	3,000,000		
未収入金	2,119,229		
在庫商品	410,715		
貯蔵品	499,730		
立替金	0		
前払費用	75,548		
仮払金	244,378		
流動資産合計		71,223,651	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金			
定期預金 三菱UFJ銀行 本店	5,000,000		
基本財産合計	5,000,000		
(2) 特定資産			
退職積立預金	2,899,114		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	2,899,114		
国際会議基金	25,240,842		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	200,282		
定期預金 みずほ銀行 虎ノ門支店	10,011,091		
普通預金 みずほ銀行 虎ノ門支店 (IRC組織)	10,133,657		
普通預金 みずほ銀行 虎ノ門支店 (IRC展示会)	4,629,239		
現金 (IRC)	266,573		
国際交流基金	13,045,294		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	9,982,611		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	3,062,683		
日本ゴム協会賞基金	4,375,845		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	1,433,098		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	2,942,747		
ゴム技術功績賞基金	2,029,906		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	693,793		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	1,336,113		

財産目録

2025年 3月31日現在

一般社団法人 日本ゴム協会

(単位：円)

科 目	金 額		
ゴム科学技術奨励金基金	1,979,907		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	397,613		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	1,582,294		
オーエンスレーガー賞基金	217,514		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	76,052		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	141,462		
特定資産合計	49,788,422		
(3) その他固定資産			
什器備品	74,068		
電話加入権	42,000		
事務所保証金	1,200,000		
その他固定資産合計	1,316,068		
固定資産合計		56,104,490	
資産合計			127,328,141
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,498,728		
会費前受金	30,186,670		
仮受金	10,000,000		
流動負債合計		41,685,398	
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,051,732		
固定負債合計		5,051,732	
負債合計			46,737,130
正味財産			80,591,011

貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	49,282,165	46,443,207	2,838,958
現金	363,589	508,462	-144,873
定期預金	3,032,029	3,030,886	1,143
普通預金	39,598,169	37,004,962	2,593,207
振替貯金	1,966,508	1,577,212	389,296
郵便貯金	1,321,870	1,321,685	185
定額貯金	3,000,000	3,000,000	0
未収入金	1,777,800	2,612,600	-834,800
仮払金	0	1,219,292	-1,219,292
流動資産合計	51,059,965	50,275,099	784,866
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職積立預金	2,899,114	2,899,065	49
国際会議基金	25,240,842	18,264,232	6,976,610
国際交流基金	13,045,294	13,238,833	-193,539
日本ゴム協会賞基金	4,375,845	4,423,940	-48,095
ゴム技術功績賞基金	2,029,906	2,128,976	-99,070
ゴム科学技術奨励金基金	1,979,907	2,178,990	-199,083
オーエンスレーガー賞基金	217,514	217,420	94
特定資産合計	49,788,422	43,351,456	6,436,966
(3) その他固定資産			
什器備品	74,068	134,700	-60,632
事務所保証金	1,200,000	1,200,000	0
その他固定資産合計	1,274,068	1,334,700	-60,632
固定資産合計	1,274,068	1,334,700	-60,632
資産合計	107,122,455	99,961,255	7,161,200
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,835,999	4,206,240	-1,370,241
会費前受金	30,186,670	30,271,820	-85,150
仮受金	3,282,490	2,003,761	1,278,729
I R C仮受金	10,000,000	0	10,000,000
流動負債合計	46,305,159	36,481,821	9,823,338
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,640,362	4,408,174	232,188
固定負債合計	4,640,362	4,408,174	232,188
負債合計	50,945,521	40,889,995	10,055,526
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	46,889,308	40,452,391	6,436,917
正味財産合計	56,176,934	59,071,260	-2,894,326
負債及び正味財産合計	107,122,455	99,961,255	7,161,200

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本ゴム協会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	100	100	0
基本財産運用益	100	100	0
特定資産運用益	21,311	719	20,592
受取入会金	104,000	75,000	29,000
入会金	104,000	75,000	29,000
受取会費	36,566,970	37,420,850	-853,880
賛助会費	24,640,600	25,171,900	-531,300
正会費	11,478,620	11,879,950	-401,330
学生会費	447,750	369,000	78,750
事業収益	37,430,114	34,835,452	2,594,662
広告料収益	10,771,200	10,674,400	96,800
会員外購読料収益	541,260	826,490	-285,230
バックナンバー収益	0	49,066	-49,066
本部行事収益	10,209,162	8,212,590	1,996,572
年次大会収益	3,649,212	3,047,700	601,512
夏期講座収益	3,052,750	2,751,690	301,060
討論会収益	3,507,200	2,413,200	1,094,000
研究部会収益	9,655,300	8,943,900	711,400
委員参加収益	2,525,600	3,021,700	-496,100
行事収益	7,129,700	5,922,200	1,207,500
業務受託収益	5,859,942	5,885,356	-25,414
別刷り代収益	393,250	243,650	149,600
受取寄付金	1,590,000	1,680,000	-90,000
雑収益	527,131	608,549	-81,418
雑収益	527,131	608,549	-81,418
経常収益計	76,239,626	74,620,670	1,618,956
(2) 経常費用			
事業費	54,047,819	46,329,959	7,717,860
会議費	122,156	1,277,573	-1,155,417
表彰費	1,982,250	2,088,950	-106,700
普及費	4,916,436	4,669,187	247,249
旅費交通費	132,282	468,580	-336,298
通信費	198,563	397,412	-198,849
印刷費	312,400	209,000	103,400
支部費	1,732,160	1,753,160	-21,000
本部行事費	7,647,718	6,518,677	1,129,041
年次大会費	2,554,144	2,264,294	289,850
夏期講座費	1,429,538	2,010,208	-580,670
討論会費	3,664,036	2,244,175	1,419,861
雑誌費	15,868,973	14,710,210	1,158,763
編集費	3,355,070	4,210,926	-855,856
印刷費	9,292,756	7,562,486	1,730,270
発送費	2,723,678	2,495,298	228,380
原稿料	497,469	441,500	55,969
研究部会費	4,045,609	2,402,381	1,643,228
会議費	2,050,051	1,038,293	1,011,758

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本ゴム協会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
行 事 費	1,995,558	1,364,088	631,470
国 際 交 流 費	200,000	200,000	0
国 際 会 議 費	3,532,871	104,835	3,428,036
人 件 費	13,356,401	11,529,994	1,826,407
給 料 手 当	10,994,624	9,683,326	1,311,298
厚 生 費	1,792,796	1,313,075	479,721
通 勤 費	279,336	244,830	34,506
中 退 共 済 掛 金	172,188	172,188	0
退 職 給 付 費 用	117,457	116,575	882
管 理 費	25,086,133	22,753,803	2,332,330
会 議 費	962,619	478,400	484,219
旅 費 交 通 費	702,569	217,233	485,336
通 信 費	969,853	861,820	108,033
消 耗 品 費	142,852	456,261	-313,409
事 務 所 費	4,384,555	4,596,223	-211,668
事 務 費	935,194	1,124,743	-189,549
雑 費	2,182,155	2,586,693	-404,538
人 件 費	13,046,438	11,276,967	1,769,471
給 料 手 当	10,739,473	9,458,601	1,280,872
厚 生 費	1,751,188	1,297,158	454,030
通 勤 費	272,854	239,147	33,707
中 退 共 済 掛 金	168,192	168,192	0
退 職 給 付 費 用	114,731	113,869	862
公 租 公 課	1,699,266	1,046,658	652,608
減 価 償 却 費	60,632	108,805	-48,173
経常費用計	79,133,952	69,083,762	10,050,190
評価損益等調整前当期経常増減額	-2,894,326	5,536,908	-8,431,234
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-2,894,326	5,536,908	-8,431,234
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,894,326	5,536,908	-8,431,234
一般正味財産期首残高	59,071,260	53,534,352	5,536,908
一般正味財産期末残高	56,176,934	59,071,260	-2,894,326
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	56,176,934	59,071,260	-2,894,326

収支計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本ゴム協会

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	1,000	100	900
基本財産運用収入	1,000	100	900
特定資産運用収入	1,000	2,726	-1,726
入会金収入	60,000	104,000	-44,000
入会金収入	60,000	104,000	-44,000
会費収入	38,035,000	36,566,970	1,468,030
賛助会費収入	25,450,000	24,640,600	809,400
正会費収入	12,000,000	11,478,620	521,380
学生会費収入	585,000	447,750	137,250
事業収入	37,930,000	37,430,114	499,886
広告料収入	10,600,000	10,771,200	-171,200
会員外購読料収入	650,000	541,260	108,740
バックナンバー収入	0	0	0
本部行事収入	9,680,000	10,209,162	-529,162
年次大会収入	3,050,000	3,649,212	-599,212
夏期講座収入	3,380,000	3,052,750	327,250
討論会収入	3,250,000	3,507,200	-257,200
研究部会収入	10,800,000	9,655,300	1,144,700
委員参加収入	3,100,000	2,525,600	574,400
行事収入	7,700,000	7,129,700	570,300
業務受託収入	6,000,000	5,859,942	140,058
別刷り代収入	200,000	393,250	-193,250
寄付金収入	1,590,000	1,590,000	0
雑収入	220,000	527,131	-307,131
雑収入	220,000	527,131	-307,131
他会計からの繰入額	0	0	0
事業活動収入計	77,837,000	76,221,041	1,615,959
2. 事業活動支出			
事業費支出	55,390,000	53,930,362	1,459,638
会議費支出	1,350,000	122,156	1,227,844
表彰費支出	2,200,000	1,982,250	217,750
普及費支出	4,600,000	4,916,436	-316,436
旅費交通費支出	700,000	132,282	567,718
通信費支出	640,000	198,563	441,437
印刷費支出	500,000	312,400	187,600
支部費支出	1,700,000	1,732,160	-32,160
本部行事費支出	6,900,000	7,647,718	-747,718
年次大会費支出	2,300,000	2,554,144	-254,144
夏期講座費支出	2,100,000	1,429,538	670,462
討論会費支出	2,500,000	3,664,036	-1,164,036
雑誌費支出	16,100,000	15,868,973	231,027
編集費支出	4,000,000	3,355,070	644,930
印刷製本費支出	8,600,000	9,292,756	-692,756
発送費支出	2,800,000	2,723,678	76,322
原稿料支出	700,000	497,469	202,531
研究部会費支出	4,500,000	4,045,609	454,391
会議費支出	2,000,000	2,050,051	-50,051

収支計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本ゴム協会

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
行 事 費 支 出	2,500,000	1,995,558	504,442
国 際 交 流 費 支 出	1,700,000	200,000	1,500,000
国 際 会 議 費 支 出	100,000	3,532,871	-3,432,871
人 件 費 支 出	14,400,000	13,238,944	1,161,056
給 料 手 当 支 出	11,840,000	10,994,624	845,376
福 利 厚 生 費 支 出	1,930,000	1,792,796	137,204
通 勤 費 支 出	450,000	279,336	170,664
中 退 掛 金 支 出	180,000	172,188	7,812
退 職 金 支 出	0	0	0
管 理 費 支 出	27,160,000	24,910,770	2,249,230
会 議 費 支 出	500,000	962,619	-462,619
旅 費 交 通 費 支 出	500,000	702,569	-202,569
通 信 費 支 出	1,500,000	969,853	530,147
消 耗 品 費 支 出	500,000	142,852	357,148
事 務 所 費 支 出	4,700,000	4,384,555	315,445
事 務 費 支 出	1,200,000	935,194	264,806
雑 支 出	2,800,000	2,182,155	617,845
人 件 費 支 出	14,060,000	12,931,707	1,128,293
給 料 手 当 支 出	11,570,000	10,739,473	830,527
福 利 厚 生 費 支 出	1,880,000	1,751,188	128,812
通 勤 費 支 出	440,000	272,854	167,146
中 退 掛 金 支 出	170,000	168,192	1,808
退 職 金 支 出	0	0	0
公 租 公 課 支 出	1,400,000	1,699,266	-299,266
事業活動支出計	82,550,000	78,841,132	3,708,868
事業活動収支差額	-4,713,000	-2,620,091	-2,092,909
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特 定 資 産 取 崩 収 入	5,100,000	3,581,619	1,518,381
退 職 積 立 基 金	0	0	0
国 際 会 議 基 金	3,000,000	3,031,179	-31,179
国 際 交 流 基 金	1,700,000	200,440	1,499,560
日 本 ゴ ム 協 会 賞 基 金	100,000	50,000	50,000
日 本 ゴ ム 功 績 賞 基 金	100,000	100,000	0
ゴ ム 科 学 技 術 奨 励 金 基 金	200,000	200,000	0
投資活動収入計	5,100,000	3,581,619	1,518,381
2. 投資活動支出			
固 定 資 産 取 得 支 出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	5,100,000	3,581,619	1,518,381
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財 務 活 動 収 入 計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財 務 活 動 支 出 計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	387,000	961,528	-574,528
前期繰越収支差額	13,793,278	13,793,278	0
次期繰越収支差額	14,180,278	14,754,806	-574,528

財務諸表に対する注記
(一般会計)

1. 重要な会計方針

(1) 退職給付引当金の計上基準について

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
退 職 積 立 預 金	2,899,065	49	0	2,899,114
国 際 会 議 基 金	18,264,232	10,707,789	3,731,179	25,240,842
国 際 交 流 基 金	13,238,833	6,901	200,440	13,045,294
日 本 ゴ ム 協 会 賞 基 金	4,423,940	3,846	51,941	4,375,845
ゴ ム 技 術 功 績 賞 基 金	2,128,976	930	100,000	2,029,906
ゴ ム 科 学 技 術 奨 励 金 基 金	2,178,990	917	200,000	1,979,907
オ ー エ ン ス レ ー ガ ー 賞 基 金	217,420	94	0	217,514
小 計	47,266,518	10,720,526	4,283,560	49,788,422
合 計	52,266,518	10,720,526	4,283,560	54,788,422

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基 本 財 産 引 当 預 金	5,000,000	0	5,000,000	0
小 計	5,000,000	0	5,000,000	0
特定資産				
退 職 積 立 預 金	2,899,114	0	0	2,899,114
国 際 会 議 基 金	25,240,842	0	25,240,842	0
国 際 交 流 基 金	13,045,294	0	13,045,294	0
日 本 ゴ ム 協 会 賞 基 金	4,375,845	0	4,375,845	0
ゴ ム 技 術 功 績 賞 基 金	2,029,906	0	2,029,906	0
ゴ ム 科 学 技 術 奨 励 金 基 金	1,979,907	0	1,979,907	0
オ ー エ ン ス レ ー ガ ー 賞 基 金	217,514	0	217,514	0
小 計	49,788,422	0	46,889,308	2,899,114
合 計	54,788,422	0	51,889,308	2,899,114

収支計算書に対する注記
(一般会計)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現預金、未収入金などの短期金銭債権債務を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	46,443,207	49,282,165
未収入金	2,612,600	1,777,800
仮払金	1,219,292	0
合計	50,275,099	51,059,965
未払金	4,206,240	2,835,999
会費前受金	30,271,820	30,186,670
仮受金	2,003,761	3,282,490
合計	36,481,821	36,305,159
次期繰越収支差額	13,793,278	14,754,806

貸借対照表

2025年 3月31日現在

収益事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,971	5,409	-438
現金	0	0	0
普通預金	4,971	5,409	-438
未収入金	2,015,036	2,844,641	-829,605
貯蔵品	499,730	800,800	-301,070
流動資産合計	2,519,737	3,650,850	-1,131,113
資産合計	2,519,737	3,650,850	-1,131,113
II 負債の部			
1. 流動負債			
2. 固定負債			
退職給付引当金	411,370	397,985	13,385
固定負債合計	411,370	397,985	13,385
負債合計	411,370	397,985	13,385
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	2,108,367	3,252,865	-1,144,498
正味財産合計	2,108,367	3,252,865	-1,144,498
負債及び正味財産合計	2,519,737	3,650,850	-1,131,113

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

収益事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	1,108,288	1,795,127	-686,839
出版物収益	1,108,288	1,653,098	-544,810
ゴム技術基礎収益	930,424	1,056,161	-125,737
ゴム用語辞典収益	93,428	569,415	-475,987
ゴム技術入門収益	79,629	27,522	52,107
免震ハンドブック	4,807	0	4,807
印税収益	0	142,029	-142,029
雑収益	153,705	116,794	36,911
雑収益	153,705	116,794	36,911
経常収益計	1,261,993	1,911,921	-649,928
(2) 経常費用			
事業費	2,406,491	2,742,974	-336,483
出版費	306,653	329,676	-23,023
事務所費	252,740	264,839	-12,099
事務費	53,913	64,837	-10,924
書籍購入費	301,070	748,632	-447,562
人件費	1,521,910	1,313,810	208,100
給料手当	1,252,796	1,103,385	149,411
厚生費	204,279	149,618	54,661
通勤費	31,830	27,903	3,927
中退共済掛金	19,620	19,620	0
退職給付費用	13,385	13,284	101
公租公課	276,418	350,416	-73,998
雑費	440	440	0
経常費用計	2,406,491	2,742,974	-336,483
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,144,498	-831,053	-313,445
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-1,144,498	-831,053	-313,445
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,144,498	-831,053	-313,445
一般正味財産期首残高	3,252,865	4,083,918	-831,053
一般正味財産期末残高	2,108,367	3,252,865	-1,144,498
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,108,367	3,252,865	-1,144,498

収支計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

収益事業会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	2,260,000	1,108,288	1,151,712
出版物収入	2,110,000	1,108,288	1,001,712
ゴム技術基礎収入	1,500,000	930,424	569,576
ゴム用語辞典収入	540,000	93,428	446,572
ゴム技術入門収入	50,000	79,629	-29,629
免震ハンドブック	20,000	4,807	15,193
印税収入	150,000	0	150,000
雑収入	320,000	153,705	166,295
雑収入	320,000	153,705	166,295
事業活動収入計	2,580,000	1,261,993	1,318,007
2. 事業活動支出			
事業費支出	2,550,000	2,092,036	457,964
出版費支出	390,000	306,653	83,347
通信費支出	10,000	0	10,000
事務所費支出	250,000	252,740	-2,740
消耗品費支出	10,000	0	10,000
発送費支出	60,000	0	60,000
事務費支出	60,000	53,913	6,087
書籍購入費支出	600,000	0	600,000
人件費支出	1,257,000	1,508,525	-251,525
給料手当支出	1,025,000	1,252,796	-227,796
福利厚生費支出	176,000	204,279	-28,279
通勤費支出	36,000	31,830	4,170
中退掛金支出	20,000	19,620	380
退職金支出	0	0	0
公租公課支出	300,000	276,418	23,582
雑支出	3,000	440	2,560
他会計への繰出額	0	0	0
事業活動支出計	2,550,000	2,092,036	457,964
事業活動収支差額	30,000	-830,043	860,043
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	30,000	0	30,000
当期収支差額	0	-830,043	830,043
前期繰越収支差額	2,850,050	2,850,050	0
次期繰越収支差額	2,850,050	2,020,007	830,043

財務諸表に対する注記
(収益事業会計)

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理している。

(2) 貯蔵品の評価方法

貯蔵品の評価方法は個別法により行っている。

収支計算書に対する注記
(収益事業会計)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現預金、未収入金などの短期金銭債権債務を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	5,409	4,971
未収入金	2,844,641	2,015,036
合計	2,850,050	2,020,007
合計	0	0
次期繰越収支差額	2,850,050	2,020,007

貸借対照表

2025年 3月31日現在

支部会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,586,915	20,183,857	-1,596,942
現金	313,322	239,831	73,491
定期預金	3,016,260	3,015,637	623
普通預金	15,257,333	16,928,389	-1,671,056
未収入金	0	0	0
在庫商品	410,715	680,595	-269,880
立替金	0	0	0
前払費用	75,548	68,808	6,740
仮払金	1,124,378	116,165	1,008,213
流動資産合計	20,197,556	21,049,425	-851,869
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
電話加入権	42,000	42,000	0
その他固定資産合計	42,000	42,000	0
固定資産合計	42,000	42,000	0
資産合計	20,239,556	21,091,425	-851,869
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	336,336	885,000	-548,664
仮受金	1,925,800	1,922,500	3,300
流動負債合計	2,262,136	2,807,500	-545,364
負債合計	2,262,136	2,807,500	-545,364
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	17,977,420	18,283,925	-306,505
正味財産合計	17,977,420	18,283,925	-306,505
負債及び正味財産合計	20,239,556	21,091,425	-851,869

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

支部会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	21,973,160	21,928,260	44,900
出版物収益	222,400	178,000	44,400
東海支部	222,400	178,000	44,400
交付金収益	1,632,160	1,653,160	-21,000
講演会収益	4,631,800	4,387,600	244,200
講習会収益	10,889,200	10,927,600	-38,400
見学会収益	510,500	876,700	-366,200
セミナー収益	3,371,600	3,228,200	143,400
交流会収益	442,500	330,000	112,500
会議費収益	273,000	347,000	-74,000
雑収益	24,543	4,948	19,595
雑収益	24,543	4,948	19,595
経常収益計	21,997,703	21,933,208	64,495
(2) 経常費用			
事業費	22,304,208	23,687,106	-1,382,898
会議費	1,472,766	2,205,842	-733,076
旅費交通費	526,738	437,133	89,605
通信費	701,676	546,655	155,021
印刷費	39,600	39,600	0
人件費	9,979,172	9,630,794	348,378
給料手当	9,979,172	9,630,794	348,378
講演会費	3,005,518	2,926,849	78,669
講習会費	2,138,925	2,882,041	-743,116
見学会費	341,320	147,602	193,718
セミナー費	1,270,757	1,408,218	-137,461
交流会費	553,880	424,423	129,457
消耗品費	223,879	148,177	75,702
事務所費	1,570,166	1,567,559	2,607
書籍代	269,880	240,240	29,640
公租公課	70,468	70,007	461
60周年記念式典費用	0	334	-334
雑費	139,463	1,011,632	-872,169
経常費用計	22,304,208	23,687,106	-1,382,898
評価損益等調整前当期経常増減額	-306,505	-1,753,898	1,447,393
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-306,505	-1,753,898	1,447,393
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-306,505	-1,753,898	1,447,393
一般正味財産期首残高	18,283,925	20,037,823	-1,753,898
一般正味財産期末残高	17,977,420	18,283,925	-306,505
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

支部会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	17,977,420	18,283,925	-306,505

収支計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

支部会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	22,621,000	21,973,160	647,840
出版物収入	200,000	222,400	-22,400
東海支部	200,000	222,400	-22,400
交付金収入	1,718,000	1,632,160	85,840
講演会収入	4,669,000	4,631,800	37,200
講習会収入	11,274,000	10,889,200	384,800
見学会収入	863,000	510,500	352,500
セミナー収入	3,233,000	3,371,600	-138,600
交流会収入	344,000	442,500	-98,500
会議費収入	320,000	273,000	47,000
雑収入	10,000	24,543	-14,543
雑収入	10,000	24,543	-14,543
事業活動収入計	22,631,000	21,997,703	633,297
2. 事業活動支出			
事業費支出	23,796,000	22,304,208	1,491,792
会議費支出	2,229,000	1,472,766	756,234
旅費交通費支出	695,000	526,738	168,262
通信費支出	590,000	701,676	-111,676
印刷費支出	100,000	39,600	60,400
人件費支出	9,725,000	9,979,172	-254,172
給料手当支出	9,725,000	9,979,172	-254,172
講演会費支出	3,150,000	3,005,518	144,482
講習会費支出	2,950,000	2,138,925	811,075
見学会費支出	190,000	341,320	-151,320
セミナー費支出	1,400,000	1,270,757	129,243
交流会費支出	441,000	553,880	-112,880
消耗品費支出	185,000	223,879	-38,879
事務所費支出	1,586,000	1,570,166	15,834
書籍代支出	220,000	269,880	-49,880
公租公課支出	70,000	70,468	-468
雑支出	265,000	139,463	125,537
事業活動支出計	23,796,000	22,304,208	1,491,792
事業活動収支差額	-1,165,000	-306,505	-858,495
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	30,000	0	30,000
当期収支差額	-1,195,000	-306,505	-888,495
前期繰越収支差額	18,241,925	18,241,925	0

収支計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

支部会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
次期繰越収支差額	17,046,925	17,935,420	-888,495

財務諸表に対する注記
(支部会計)

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理している。

(2) 在庫商品の評価方法

在庫商品の評価方法は個別法により評価している。

収支計算書に対する注記
(支部会計)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現預金、未収入金などの短期金銭債権債務を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	20,183,857	18,586,915
未収入金	0	0
在庫商品	680,595	410,715
立替金	0	0
前払費用	68,808	75,548
仮払金	116,165	1,124,378
合計	21,049,425	20,197,556
未払金	885,000	336,336
預り金	0	0
仮受金	1,922,500	1,925,800
合計	2,807,500	2,262,136
次期繰越収支差額	18,241,925	17,935,420

2024年度監査報告

一般社団法人日本ゴム協会
会長 網野 直也 殿

私たち監事は、当協会の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律197条において準用する同法第99条第1項)及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第64条において準用する同規則第36条及び第45条)の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当協会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2025年4月30日

監事	小 禁 次 郎	
監事	長 谷 朝 博	
監事	相 上 裕 人	

2025年度活動方針

一般社団法人 日本ゴム協会

2025年度は、本協会の目的（別記）達成のため、ゴムに関連する技術の研究成果の発表と議論ならびに情報収集の場を会員に十分に提供するとともに、本協会の活動を国内外に情報発信する。具体的には、国内外の交流推進、論文投稿の活性化、顕彰制度の充実など必要な事業を実行する。

上記の方針に従い、下記の業務を本部、支部、部門等で分担して遂行する。

- (1) 本 部：各支部、各部会および各部門と連携しつつ、協会の円滑な運営・活動にあたり、財務の健全化、国内外への情報発信を行う。
- (2) 支 部：会員のための地域的活動を強力に推進するとともに、本部との緊密な連携によって三人行事の開催に協力する。
- (3) 行事部門：本部行事（年次大会、エラストマー討論会、夏期講座）の充実と国際化を図り、会員の学識と技術の向上、会員相互の意見交換、国内外への情報発信を行う。
- (4) 出版・会誌部門：学術論文誌としての協会誌の充実を図るとともに、機関誌として

の協会誌を通じて、ゴムに関連する学術から産業技術に渡る幅広い分野の最新解説記事を提供し、会員の学識と技術の向上、ならびに国内外への情報発信に貢献する。

- (5) 研究部会：会員のニーズに適合した研究分科会活動を活発に行うとともに、各専門分野に関するシンポジウム、講習会などを通じて会員の学識と技術の向上を図る。
- (6) 標準化部門：日本ゴム工業会ISO/TC45国内審議委員会に対応する分科会メンバーとしてJIS および ISO規格の立案ならびに改正案の作成を支援する。
- (7) 国際部門：国際交流全般を主導する。国内外で開催されるゴム関係国際会議の窓口機能を果たすとともに、国際会議開催の立案、国際交流協定の締結、人材派遣など国際交流に必要な施策を実行する。
- (8) 顕彰部門：規定に則り、ゴム科学と技術の発展に寄与した候補者選定を厳正に行い、その成果を顕彰することによりゴム科学と技術の普及発展に資する。

日本ゴム協会三人行事開催予定

	2025	2026	2027	2028	2029
年次大会	関 東	関 西	東 海	関 東	関 西
夏期講座	関 西	—	関 東	未 定	東 海
エラストマー討論会	東 海	—	関 西	未 定	関 東

※2026年はIRC開催年

2028年は100周年

(別記) 本協会の目的：ゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに関する基礎から応用に至る科学・技術およびナノテクノロジーなど先端研究の推進をリードし、その成果や最新情報を広く会員に伝達することによって会員の学識と技術の向上に資するとともに、広く一般に情報を発信し、ゴムに関連する学術ならびに産業の進歩発達を図り、文化の向上に寄与することを目的とする。

2025年度事業計画

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

1. 学術及び生産技術の研究及び調査（定款第4条第1号）

- (1) 2025年年次大会（第14回定時社員総会）を下記のとおり開催する。

日時 2025年5月19日（月）・20日（火）

会場 機械振興会館 参加予定者315名

- (2) 第36回エラストマー討論会を下記のとおり開催する。

日時 2025年12月11日（木）・12日（金）

会場 名古屋市中小企業振興会館 参加予定者270名

2. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条第2号）

- (1) 研究部会ではゴム・エラストマー・ソフトマテリアルとその周辺科学をより深く追求し、その成果を会員ならびに社会に還元する。

①広くゴム及びその周辺科学に関連する先端基礎科学、材料特性、設計、生産及び評価の先端技術について調査研究を行い、その成果を我が国ゴム産業の発展に役立てることを目的とする。

②各研究分科会において、定期的に研究会を催し、最新の課題について調査・研究し討論する。

- (2) 顕彰関係

①日本ゴム協会賞

創立60周年を記念して設定されたもので、第37回の表彰と第38回の選考を行う。

②ゴム技術功績賞

創立35周年を記念して有功賞として設定され、2000年に功績賞と名称を改めたもので、第63回の表彰と第64回の選考を行う。

③優秀論文賞

創立25周年を記念して設定されたもので、第72回の表彰と第73回の選考を行う。

④ゴム技術進歩賞

創立15周年を記念して設定されたもので、第80回の表彰と第81回の選考を行う。

⑤オーエンスレーガー賞

1957年ゴム科学の権威故オーエンスレーガー氏を記念して設立されたもので、第35回の選考を行う。

⑥日本ゴム協会科学技術奨励賞

創立50周年を記念して設定された奨励金を2008年

度に奨励賞と改めたもので、第17回の表彰と第18回の選考を行う。

⑦CERI若手奨励賞

2007年度に一般財団法人化学物質評価研究機構の申し出により新設されたもので、第18回の表彰と第19回の選考を行う。

⑧ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞

創立80周年にあたり株式会社ブリヂストンの申し出により新設されたもので、第16回の表彰と第17回の選考を行う。

⑨CERI最優秀発表論文賞、若手・ポスター・英語優秀発表賞

年次大会とエラストマー討論会において優秀と認められるものの表彰を行う。

3. 講演会の開催（定款第4条第3号）

- (1) 第59回夏期講座を下記のとおり開催する。

日時 2025年7月31日（木）・8月1日（金）

会場 住友ゴム工業株式会社中央研修所 参加予定者60名

- (2) 研究分科会において得られた専門的成果に基づいて、分科会主催のシンポジウム、講習会を開催し、会員ならびに一般ゴム科学技術者の研鑽に資する。

- (3) 各支部において次のような諸行事を実施する予定で、詳細は各支部に一任する。

関東支部 講習会2回、講演会2回、紹介講演会1回、セミナー2回、見学会1回、交流会1回、初級ゴム技術研修会（化学物質評価研究機構と共催）

東海支部 講習会1回、講演会3回、紹介講演会1回、見学会1回、セミナー1回

関西支部 講習会1回、講演会6回、紹介講演会1回、サタデーセミナー6回、見学会1回、交流会2回、若手セミナー5回

九州支部 講演会2回、事例発表会1回、技術講座1回、交流会2回

4. 会誌及び図書の刊行（定款第4条第4号）

(1) 日本ゴム協会誌の発行

協会誌編集に当たって、基本的にはこれまでの基本方針を継承する。

会員へのゴム技術提供及び学術推進のための機関誌「日本ゴム協会誌」発行において以下の企画を推進する。

- ①ゴム技術を中心に周辺技術やソフトマテリアル材料に関するタイムリーな情報を提供する。
- ②会員啓蒙のため、一つのテーマについて、複数回にわたってより詳しく解説した「特論講座」を引続き連載する。
- ③今日的なテーマ及びゴム固有のテーマ等で特集を組み、研究部会の協力も得て、定期的に掲載する。
- ④わが国で編集発行するゴム技術論文誌として、高いレベルで審査、発行する。
- ⑤ゴム技術に関する豆知識を継続して連載する。
- ⑥年次大会及びエラストマー討論会での研究発表やIRC, IRCCあるいはISO/TC45国際会議などの海外におけるゴム・ソフトマテリアル関連の参加記等を掲載し、会員への情報提供に努める。
- ⑦発行予定：2025年の1年間で12冊（普通号7冊，特集号5冊）
総説，論文等のページ数を各号35頁×12冊=420頁，
会告：各号30頁×12冊=360頁，年間総頁数：780頁（予定）

(2) 出版関係

- ①2005年度にJ-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsm>) 上で創刊した英文電子ジャーナル（e-Journal of Soft Materials）を継続して発行し、ゴムを中心とした諸分野の研究成果を世界に発信する場を提供するとともに、世界のゴム科学・技術・工業の発展に寄与する。
- ②日本ゴム協会誌の電子公開を継続して行う。

5. 見学及び視察（定款第4条第5号）

(1) 国際交流

IRC2025 Bangkokに代表派遣を予定する。また各国との連携を進め、世界のゴム科学技術の発展に貢献する。

- (2) 各支部で会員ならびに一般ゴム科学技術者の資質向上を目的に見学会を開催する。

6. 会員の交流（定款第4条第6号）

(1) 会員活動の充実と会員増強

会員（正・学生・賛助・名誉）のための活動の場（シンポジウム，講演会，講習会，研究発表会）を積極的に提供し、世界に向けて発信（e-JSM）することでゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに関する研究開発・科学技術の発展に貢献するとともに社会的ニーズ，業界動向など，会員の「見たい・聞きたい・知りたい情報」を提供する行事企画を推進し，会員一人一人の活動を支援する。会員活動の充実に図り，併せて会員増強の基礎となす。

7. 関係官庁及び関係団体等の諮問に対する答申又は建議（定款第4条第7号）

- (1) 研究部会では必要に応じて関係官庁及び関連団体の諮問に応ずる。
- (2) ゴム及びゴム製品に係る標準化活動

1. 国際標準開発全般

引き続き「日本のゴム関連企業の有する優れた技術と高い品質（Japan Quality）を示すことができ、日本製品の優位を見える化する。」ことを命題として規格開発を戦略的に進める。特に、重要テーマである「合成ゴムのコールドフローの求め方」など，その計画に沿った確実な実施と成果報告に繋げ，併せて，次の大型テーマの提案に繋げる検討を積極的に進めることを計画する。

- ①ISO開発：継続する重点テーマとして「合成ゴムのコールドフローの求め方」や「土壌・堆積物中のタイヤ・道路摩耗粉塵の定量方法」などの規格開発に注力する。また，日本品質の見える化／格差付けを狙った継続案件16件を中心に確実にISO発行あるいは次の段階へ進展させる予定。更に，定期見直し77件の審議を行う計画。実施に当っては国内での戦略的な審議を踏まえ，ISO国際会議への積極的な参加と提言，更に関係官庁及び関係団体の諮問に対する答申・連絡を心がける。
- ②JIS開発：JISに関しては31件の定期見直しを行うと共に，「電気抵抗率の求め方—第2部：平行端子電極法」や「引布試験方法—第2部：物理試験（基本）」，「ゴム用カーボンブラック—造粒粒子の特性」等計6件の原案作成を進める予定。
- ③国際会議：第73回ISO/TC45国際会議は，10月13日（月）～10月17日（金）にインドでの開催予定である。期間中に大小30以上の会議が開催され，審議案件のISO規格発行及びステージアップの可否が決定されるため，日本提案の発行決定やス

テージアップのための丁寧な説明や活発な議論、更には新規提案のわかりやすい説明を実施する予定。また、近年の新興国の提案案件を中心として、国内産業に負の影響を与えそうな案件について注視し、必要ならば会議中に可能な反論を実施、もしくは関係団体と連携して、課題解決に向けた活動を推進する予定

2. 新規テーマ創出：継続して、「日本のゴム関連企業の有する優れた技術と高い品質(Japan Quality)を示すことができ、日本製品の優位を見える化する。」為の規格化テーマの創出を行う予定。「免震用積層ゴム支承」や「耐オゾン性評価方法」，「ホースの水分透過性評価方法」の規格開発を進めてゆく。
3. 委員会構成，人材面：前年度と同様に，ISO/TC45 国内審議委員会活動の為の14分科会の体制で実施する。事務局は昨年度と同様の体制を継続する。
4. 関連団体との連携強化：引続き，友好団体はもと

より，自動車技術会，プラスチック工業連盟，日本試験機工業会，日本溶接協会，日本産業機械工業会，水素供給利用技術研究協会，日本エルピーガス供給機器工業会，日本寝装寝具協会，日本免震構造協会，建築ガasket協会，日本グローブ工業会等との関係を強化し，ISO/TC45関連の標準化活動を更に連携した活動として実施する予定。

また近年の新興国からの提案が増加しているISO新規案件における，国内産業への影響の検討のため，関係団体との連携を更に強化して行く予定。

8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第8号）

- (1) 引き続きIRC2026 AICHIの開催にむけ，準備を進める。
- (2) ホームページの改修を行う。
- (3) 研究部会の活性化や分科会改編を検討する。

2025年度 事業計画表

月	本部	支 部	研究部会
4 月	2023年度監査会(30日)ハイブリッド開催 第1回理事会(30日)ハイブリッド開催	関東 東海 関西 九州 2025年度第1回支部幹事会(23日)ハイブリッド開催 月例講演会(25日)ハイブリッド開催 名古屋市工業研究所 第1回合同幹事会(25日)ハイブリッド開催 第46回サタデーセミナー4月例会(5日)DKビル/ハイブリッド 第1回支部幹事会(16日)大阪産業創造館6F会議室C/ハイブリッド	
5 月	2025年年次大会(19日・20日) 第14回定時社員総会 研究発表会 機械振興会館	関東 東海 関西 九州	
6 月		関東 東海 関西 九州 第65回ゴム技術入門講座(25日・26日)オンライン開催 支部総会・記念講演会(20日)今池ガスビル 第2回合同幹事会(20日) 第46回サタデーセミナー6月例会(7日)・DKビル/ハイブリッド 第42回若手セミナー(12日)・大阪産業創造館5F研修室C 支部会議・特別講演会(17日)・大阪産業創造館6F会議室C/ハイブリッド 6月度月例講演会(共催：中国ゴム技術研究会)(20日)岡山国際交流センター 第77回支部会議・講演会・交流会(27日)久留米シティプラザ	シボ・ジウム 楠強(未定)ハイブリッド開催
7 月	第59回夏期講座(31日) 住友ゴム工業株式会社中央研修所	関東 東海 関西 九州 2025年度第2回支部幹事会(14日)ハイブリッド開催 第65回ゴム技術入門講座(23日・24日)オンライン開催 ゴム技術入門講座(10・11日, 17・18日)ハイブリッド開催 名古屋工業大学	シボ・ジウム 水素(11日)ハイブリッド開催
8 月	第2回理事会(4日)ハイブリッド開催 第59回夏期講座(1日) 住友ゴム工業株式会社中央研修所	関東 東海 関西 九州 第23回若手からベテランのためのセミナー(未定)オンライン開催 第46回サタデーセミナー8月例会(2日)DKビル/ハイブリッド 第43回若手セミナー(7日)・京都工芸繊維大学 第2回支部幹事会(19日)大阪産業創造館6F会議室C/ハイブリッド	講習会 力学(22日)ハイブリッド開催
9 月		関東 東海 関西 九州 2025年度第3回支部幹事会(未定)ハイブリッド開催 2025年度見学会(未定) 月例講演会(未定) 第3回合同幹事会(未定) 第44回若手セミナー(11日)・大阪産業創造館6F会議室/ハイブリッド 9月例会講演会(共催：神戸ゴム科学研究会)(未定)兵庫県工業技術センター 第11回ゴムの実践技術講座(実習)(3日～5日)久留米高専 第36回ゴム技術・研究事例発表会(26日)久留米シティプラザ	
10 月	第3回理事会(31日)ハイブリッド開催	関東 東海 関西 九州 第48回総合紹介講演会(未定) 地方講演会(未定) 第4回合同幹事会(未定) 第46回サタデーセミナー10月例会(4日)DKビル/ハイブリッド 第40回若手セミナー(10日)・6F会議室D/ハイブリッド 2025年秋期ゴム技術講習会(日程会場未定)	シボ・ジウム 劣化(未定)対面開催 練り(28・29日)ハイブリッド開催
11 月		関東 東海 関西 九州 第65回秋期ゴム技術講習会(未定)オンライン開催 見学会(未定) 第45回若手セミナー(6日)・大阪産業創造館6F会議室/ハイブリッド 第3回関西支部幹事会(12日)大阪産業創造館6F会議室/ハイブリッド 第40回総合紹介講演会(21日)大阪天満橋・ドーンセンター 11月月例会講演会(14日or28日)(共催：関西ゴム技術研究所)東大阪市クリエイターズプラザ	シボ・ジウム 分析(7日)ハイブリッド開催
12 月	第36回エラストマー討論会(11日・12) 名古屋市中小企業振興会館	関東 東海 関西 九州 第4回支部幹事会・技術講演会と支部交流会(未定)東部ビル5F 第5回合同幹事会(未定) 第46回サタデーセミナー12月例会(6日)DKビル/ハイブリッド	シボ・ジウム 金型(未定)ハイブリッド開催 接着(未定)ハイブリッド開催
2026 1 月	第4回理事会(29日)ハイブリッド開催	関東 東海 関西 九州 アドバンストセミナー(未定) 1月例会見学会(14or15or21or22日)＜見学先未定＞ 第4回支部幹事会・新年親睦会＜関西支部合同役員会＞(未定) 新春講演会・交流会(30日)久留米シティプラザ	シボ・ジウム トライボロジー(未定)ハイブリッド開催
2 月		関東 東海 関西 九州 技術講演会(共催：東北ポリマー懇話会)・第5回支部幹事会 アドバンテックセミナー2026(未定)オンライン開催 総合紹介講演会(26日)名古屋市中小企業振興会館 第46回サタデーセミナー2月例会(7日)DKビル対面のみで開催 第46回若手セミナー(13日)第6回若手発表交流会・大阪産業創造館6F会議室(未定) 2月例会講演会(広島)(未定)	シボ・ジウム 成形(未定)ハイブリッド開催
3 月		関東 東海 関西 九州 第6回合同幹事会(未定)	シボ・ジウム 配合(未定)ハイブリッド開催

2025・2026年度役員選任

一般社団法人 日本ゴム協会

	氏 名	現 職
理 事	大月 正珠	株式会社ブリヂストン
	加藤 進一	株式会社加藤事務所
	川添 真幸	横浜ゴム株式会社
	河原 成元	長岡技術科学大学
	菊池 裕	興国インテック株式会社
	中嶋 健	東京科学大学
	百武健一郎	一般財団法人化学物質評価研究機構
	山岸 英哲	日本ゼオン株式会社
	山崎 聡	三井化学株式会社
	小林 憲治	豊田合成株式会社
	近藤 新一	西武ポリマ化成株式会社
	鳥澤 浩司	東海興業株式会社
	山本 勝宏	名古屋工業大学
	菊地 尚彦	住友ゴム工業株式会社
	北川 紀樹	株式会社大阪ソーダ
	櫻井 伸一	京都工芸繊維大学
	原野 健一	元 株式会社アシックス
	松本 恭一	中西金属工業株式会社
	渡邊 順司	甲南大学
	村上 裕人	長崎大学
監 事	小薬 次郎	鬼怒川ゴム工業株式会社
	長谷 朝博	産業技術総合研究所
	渡邊 勝宏	久留米工業高等専門学校

2025年度収支予算

一般社団法人日本ゴム協会

収支予算書総括表

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

(単位:千円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
I. 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
① 基本財産運用収入	1	0	0	0	1
基本財産運用収入	1	0	0	0	1
② 特定資産運用収入	1	0	0	0	1
③ 入会金収入	100	0	0	0	100
入会金収入	100	0	0	0	100
④ 会費収入	37,950	0	0	0	37,950
賛助会費収入	25,450	0	0	0	25,450
正会費収入	12,000	0	0	0	12,000
学生会費収入	500	0	0	0	500
⑤ 事業収入	32,635	1,370	22,550	△ 2,635	53,920
広告料収入	10,700	0	0	0	10,700
会員外購読料収入	650	0	0	0	650
バックナンバー収入	0	0	0	0	0
本部行事収入	10,350	0	0	0	10,350
研究部会収入	9,600	0	0	0	9,600
会議費収入	0	0	320	0	320
別刷り代収入	450	0	0	0	450
出版物収入	0	1,220	200	0	1,420
印税収入	0	150	0	0	150
業務受託収入	885	0	0	△ 885	0
交付金収入	0	0	1,717	△ 1,650	67
講演会収入	0	0	4,700	△ 100	4,600
講習会収入	0	0	11,355	0	11,355
見学会収入	0	0	620	0	620
セミナー収入	0	0	3,198	0	3,198
交流会収入	0	0	440	0	440
⑥ 寄付金収入	1,680	0	0	0	1,680
⑦ 雑収入	550	300	12	0	862
事業活動収入計	72,917	1,670	22,562	△ 2,635	94,514
2 事業活動支出					
① 事業費支出	56,495	2,638	21,930	△ 2,635	78,428
会議費支出	300	0	1,880	0	2,180
表彰費支出	2,100	0	0	0	2,100
普及費支出	5,000	0	0	0	5,000
旅費交通費支出	180	0	700	0	880
通信費支出	200	0	670	0	870
印刷費支出	350	0	99	0	449
支部費支出	1,750	0	0	△ 1,750	0
本部行事費支出	6,600	0	0	0	6,600
雑誌費支出	16,100	0	0	0	16,100
研究部会費支出	4,000	0	0	0	4,000
国際交流費支出	200	0	0	0	200
国際会議費支出	8,000	0	0	0	8,000
人件費支出	11,715	1,345	7,765	0	20,825
出版費支出	0	390	0	0	390
書籍購入費支出	0	600	0	0	600
講演会費支出	0	0	3,130	0	3,130
講習会費支出	0	0	2,390	0	2,390
見学会費支出	0	0	395	0	395
セミナー費支出	0	0	1,415	0	1,415
交流会費支出	0	0	545	0	545
消耗品費支出	0	0	163	0	163
事務所費支出	0	0	1,586	△ 885	701

収支予算書総括表

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

(単位:千円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
書籍代支出	0	0	946	0	946
雑支出	0	3	175	0	178
公租公課支出	0	300	70	0	370
② 管理費支出	24,100	0	0	0	24,100
会議費支出	900	0	0	0	900
旅費交通費支出	800	0	0	0	800
通信費支出	1,000	0	0	0	1,000
消耗品費支出	400	0	0	0	400
事務所費支出	4,500	0	0	0	4,500
事務費支出	1,100	0	0	0	1,100
雑支出	2,300	0	0	0	2,300
人件費支出	11,400	0	0	0	11,400
公租公課支出	1,700	0	0	0	1,700
事業活動支出計	80,595	2,638	21,930	△ 2,635	102,528
事業活動収支差額	△ 7,678	△ 968	632	0	△ 8,014
Ⅱ. 投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
① 特定資産取崩収入	8,600	0	0	0	8,600
国際会議基金取崩収入	8,000	0	0	0	8,000
国際交流基金取崩収入	200	0	0	0	200
協会賞基金取崩収入	100	0	0	0	100
功績賞基金取崩収入	100	0	0	0	100
奨励賞基金取崩収入	200	0	0	0	200
投資活動収入計	8,600	0	0	0	8,600
2 投資活動支出					
① 特定資産取得支出	0	0	0	0	0
② 固定資産取得支出	0	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	8,600	0	0	0	8,600
Ⅲ. 財務活動収支の部					
1 財務活動収入	0	0	0	0	0
2 財務活動支出	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
Ⅳ. 予備費支出	0	30	30	0	60
当期収支差額	922	△ 998	602	0	526
前期繰越収支差額	15,361	2,020	17,934	0	35,315
次期繰越収支差額	16,283	1,022	18,536	0	35,841

収支予算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

一般会計

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I. 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	1	0	
基本財産運用収入	1	1	0	基本金の利子
② 特定資産運用収入	1	1	0	基金の利子
③ 入会金収入	100	60	40	
入会金収入	100	60	40	2024決算ベース
④ 会費収入	37,950	38,035	△ 85	
賛助会費収入	25,450	25,450	0	2024決算ベース
正会費収入	12,000	12,000	0	2024決算ベース
学生会費収入	500	585	△ 85	2024決算ベース
⑤ 事業収入	32,635	37,930	△ 5,295	
広告料収入	10,700	10,600	100	2024決算ベース
会員外購読料収入	650	650	0	2024決算ベース
バックナンバー収入	0	0	0	2024決算ベース
本部行事収入	10,350	9,680	670	
年次大会収入	3,700	3,050	650	2024決算ベース
夏期講座収入	3,100	3,380	△ 280	2024決算ベース
討論会収入	3,550	3,250	300	2024決算ベース
研究部会収入	9,600	10,800	△ 1,200	
委員参加収入	2,600	3,100	△ 500	2024決算ベース
行事収入	7,000	7,700	△ 700	2024決算ベース
業務受託収入	885	6,000	△ 5,115	事務所費のみ
別刷り代収入	450	200	250	2024決算ベース
⑥ 寄付金収入	1,680	1,590	90	2023決算ベース
⑦ 雑収入	550	220	330	2024決算ベース
事業活動収入計	72,917	77,837	△ 4,920	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	56,495	55,390	1,105	
会議費支出	300	1,350	△ 1,050	2024決算ベース
表彰費支出	2,100	2,200	△ 100	2023決算ベース
普及費支出	5,000	4,600	400	2024決算ベース
旅費交通費支出	180	700	△ 520	2024決算ベース
通信費支出	200	640	△ 440	2024決算ベース
印刷費支出	350	500	△ 150	2024決算ベース
支部費支出	1,750	1,700	50	2024決算ベース
本部行事費支出	6,600	6,900	△ 300	
年次大会費支出	2,500	2,300	200	2023決算ベース
夏期講座費支出	1,500	2,100	△ 600	2024決算ベース
討論会費支出	2,600	2,500	100	2025見込み
雑誌費支出	16,100	16,100	0	
編集費支出	3,400	4,000	△ 600	2024決算ベース
印刷製本費支出	9,300	8,600	700	2024決算ベース
発送費支出	2,800	2,800	0	2024決算ベース
原稿料支出	600	700	△ 100	2024決算ベース
研究部会費支出	4,000	4,500	△ 500	
会議費支出	1,900	2,000	△ 100	2024決算ベース
行事費支出	2,100	2,500	△ 400	2024決算ベース
国際交流費支出	200	1,700		2024決算ベース
国際会議費支出	8,000	100		2025見込み
人件費支出	11,715	14,400	△ 2,685	
給料手当支出	9,600	11,840	△ 2,240	2025見込み
福利厚生費支出	1,650	1,930	△ 280	2025見込み
通勤費支出	290	450	△ 160	2025見込み

収支予算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

一般会計

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
中退共済掛金支出	175	180	△ 5	2025見込み
退職金支出	0	0	0	2025見込み
② 管理費支出	24,100	27,160	△ 3,060	
会議費支出	900	500	400	2024決算ベース
旅費交通費支出	800	500	300	2024決算ベース
通信費支出	1,000	1,500	△ 500	2024決算ベース
消耗品費支出	400	500	△ 100	2023決算ベース
事務所費支出	4,500	4,700	△ 200	2024決算ベース
事務費支出	1,100	1,200	△ 100	2024決算ベース
雑支出	2,300	2,800	△ 500	2024決算ベース
人件費支出	11,400	14,060	△ 2,660	
給料手当支出	9,350	11,570	△ 2,220	2025見込み
福利厚生費支出	1,600	1,880	△ 280	2025見込み
通勤費支出	280	440	△ 160	2025見込み
中退共済掛金支出	170	170	0	2025見込み
退職金支出	0	0	0	2025見込み
公租公課支出	1,700	1,400	300	2024決算ベース
事業活動支出計	80,595	82,550	△ 1,955	
事業活動収支差額	△ 7,678	△ 4,713	△ 2,965	
Ⅱ. 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	8,600	5,100	3,500	
退職積立基金取崩収入	0	0	0	
国際会議基金取崩収入	8,000	3,000	5,000	2025見込み
国際交流基金取崩収入	200	1,700	△ 1,500	2024決算ベース
協会賞基金取崩収入	100	100	0	2024決算ベース
功績賞基金取崩収入	100	100	0	2024決算ベース
奨励賞基金取崩収入	200	200	0	2024決算ベース
投資活動収入計	8,600	5,100	3,500	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	0	0	0	
② 固定資産取得支出	0	0	0	
国際交流基金			0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	8,600	5,100	3,500	
Ⅲ. 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ. 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	922	387	535	
前期繰越収支差額	15,361	13,793	1,568	
次期繰越収支差額	16,283	14,180	2,103	

(注) 1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成し

2. 借入金限度額 0円

3. 債務負担額 なし

収支予算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

収益事業会計

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I. 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 事業収入	1,370	2,260	△ 890	
出版物収入	1,220	2,110	△ 890	
ゴム技術基礎収入	1,000	1,500	△ 500	2024決算ベース
ゴム用語辞典収入	150	540	△ 390	2024決算ベース
ゴム技術入門収入	50	50	0	2024予算ベース
免震ハンドブック	20	20	0	2024予算ベース
広告料収入	0	0	0	
印税収入	150	150	0	2024予算ベース
② 雑収入	300	320	△ 20	2024予算ベース
事業活動収入計	1,670	2,580	△ 910	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	2,638	2,550	88	
出版費支出	390	390	0	
印刷費支出	0	0	0	
会議費支出	0	0	0	2024予算ベース
通信費支出	10	10	0	2024予算ベース
事務所費支出	250	250	0	2024予算ベース
消耗品費支出	10	10	0	2024予算ベース
発送費支出	60	60	0	2024予算ベース
旅費交通費支出	0	0	0	2024予算ベース
事務費支出	60	60	0	2024予算ベース
貯蔵品減少費支出	0	0	0	
書籍購入費支出	600	600	0	2024予算ベース
人件費支出	1,345	1,257	88	
給料手当支出	1,100	1,025	75	2025見込み
福利厚生費支出	190	176	14	2025見込み
通勤費支出	35	36	△ 1	2025見込み
中退共済掛金支出	20	20	0	2025見込み
退職金支出	0	0	0	
公租公課支出	300	300	0	2024予算ベース
雑支出	3	3	0	2024予算ベース
事業活動支出計	2,638	2,550	88	
事業活動収支差額	△ 968	30	△ 998	
II. 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	
2 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III. 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV. 予備費支出	30	30	0	2023予算ベース
当期収支差額	△ 998	0	△ 998	
前期繰越収支差額	2,020	3,554	△ 1,534	
次期繰越収支差額	1,022	3,554	△ 2,532	

(注) 1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成し

2. 借入金限度額 0円

3. 債務負担額 なし

収支予算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会
支部会計

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I. 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 事業収入	22,550	22,621	△ 71	
交付金収入	1,717	1,718	△ 1	
講演会収入	4,700	4,669	31	
講習会収入	11,355	11,274	81	
見学会収入	620	863	△ 243	
セミナー収入	3,198	3,233	△ 35	
交流会収入	440	344	96	
会議費収入	320	320	0	
出版物収入	200	200	0	
0	0	0	0	
② 雑収入	12	10	2	
事業活動収入計	22,562	22,631	△ 69	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	21,930	23,795	△ 1,865	
講演会費支出	3,130	3,150	△ 20	
講習会費支出	2,390	2,950	△ 560	
見学会費支出	395	190	205	
セミナー費支出	1,415	1,400	15	
交流会費支出	545	441	105	
会議費支出	1,880	2,229	△ 349	
印刷費支出	99	100	△ 0	
消耗品費支出	163	185	△ 22	
通信費支出	670	590	80	
旅費交通費支出	700	695	5	
事務所費支出	1,586	1,586	0	
人件費支出	7,765	9,725	△ 1,960	
書籍代支出	946	220	726	
雑支出	175	265	△ 90	
公租公課支出	70	70	0	
0	0	0	0	
事業活動支出計	21,930	23,795	△ 1,865	
事業活動収支差額	632	△ 1,164	1,796	
II. 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	
2 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III. 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV. 予備費支出	30	30	0	
当期収支差額	602	△ 1,194	1,796	
前期繰越収支差額	17,934	21,188	△ 3,254	
次期繰越収支差額	18,536	19,994	△ 1,458	

(注) 1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。

2. 借入金限度額 0円

3. 債務負担額 なし

各 賞 の 表 彰

一般社団法人日本ゴム協会

●名誉会員推戴

一般社団法人日本ゴム協会定款第5条第2項・第3項および
本会名誉会員推薦規定に基づき名誉会員に推戴する。

圓藤紀代司 氏

氏は環状高分子合成を始めとする高分子の精密合成に関する研究に従事され、ゴム材料および関連する基礎化学の発展に貢献され、本会の活動では、会長・理事・関西支部長などを歴任され、ご尽力いただいた。また、第48回優秀論文賞を受賞、第25回オーエンスレーガー賞を受賞するなどこれらの功績は多大である。

山田 英介 氏

氏はポリウレタンエラストマーの改質研究に従事され、若手技術者の教育やゴム・エラストマーの構造と物性に関する発展に貢献され、本会では副会長・理事・東海支部長などを歴任され、現在も東海支部特別顧問として在任中であり、ご尽力いただいている。また、第23回・第52回優秀論文賞を受賞、第31回日本ゴム協会賞を受賞するなどこれらの功績は多大である。

●第37回日本ゴム協会賞

業績の名称：アクティブトレッド技術開発

受 賞 者：住友ゴム工業株式会社 馬淵 貴裕 氏
住友ゴム工業株式会社 富崎由佳理 氏
住友ゴム工業株式会社 安田 理恵 氏

●第63回ゴム技術功績賞

大内 康平 氏

●第72回優秀論文賞

※本賞は、大内新興化学工業株式会社様の寄付金によって運営されています。

受賞論文：NBRの素練りがカーボンブラックの分散に及ぼす影響

岡本浩二氏・藤道治氏・中嶋健氏

受賞論文：時分割XAFSを用いた異なる加硫系のゴムにおける加硫時の亜鉛化合物の生成挙動に関する研究

澤田諭氏・近藤寛朗氏・中西洋平氏・

竹中幹人氏・柴田基樹氏・藤波想氏・

宮崎司氏

●第80回ゴム技術進歩賞

※本賞は、村岡ゴム工業株式会社様の寄付金によって運営されています。

研究課題：抗張積最大かつ熱老化試験後の抗張積保持率が最大のリサイクルゴム粉をブレンドした硫黄加硫天然ゴム

受 賞 者：三ツ星ベルト株式会社 逸見 祐介 氏

●第17回日本ゴム協会科学技術奨励賞

研究の名称：二酸化炭素によって物性・機能の制御可能なエラストマー材料の開発

受 賞 者：岐阜大学 三輪 洋平 氏

●第18回CERI若手奨励賞

※本賞は、一般財団法人化学物質評価研究機構様の寄付金によって運営されています。

研究の名称：Rheo - Raman分光法を用いたゴム・エラストマー材料の力学挙動解析

受 賞 者：滋賀県立大学 木田 拓充 氏

●第16回ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞

※本賞は、株式会社ブリヂストン様の寄付金によって運営されています。

研究の名称：未踏の力学物性を示す高均一ゴムの創製

受 賞 者：東京大学 中川慎太郎 氏
・奨励賞

研究の名称：伸長誘起結晶化を利用した高分子網目・イオン液体複合材料の強靱化

受 賞 者：岐阜大学 橋本 慧 氏

第37回日本ゴム協会賞審査報告

日本ゴム協会賞委員会

委員長 網野 直也

日本ゴム協会賞は、社団法人日本ゴム協会創立60周年を記念して設立されたゴムならびにその周辺領域における科学、技術又はその産業分野の発展に寄与し、その業績が極めて顕著な本会会員に対して授与される名誉ある賞である。

日本ゴム協会賞受賞者選定規定に基づき日本ゴム協会誌に告示し、会員、本会各支部、関連する他学協会代表者への推薦依頼をした。推薦締切日の2024年11月30日までに1件の推薦が本賞選考委員会にあった。日本ゴム協会賞委員会を2025年2月28日に開催し、推薦者からの提出資料、被推薦者からの説明に基づいて、推薦理由、実績、ならびにゴム関連業界への貢献度などについて厳正な審査を行った。その結果、推薦された候補は受賞推薦候補に相応しいと委員会は判断した。選定規定に基づき、委員長を除く出席委員の無記名投票を行った結果、1件の推薦候補が選考された。

本選考委員会の審議結果が理事会に報告され、理事会は下記1件の推薦候補を第37回日本ゴム協会賞受賞者と決定した。

(1) 受賞業績名：アクティブトレッド技術開発

受賞者：馬淵 貴裕，富崎 由佳理，安田 理恵（住友ゴム工業株式会社）

受賞理由：タイヤ業界では、路面環境に応じて夏用・冬用タイヤを提供しており、各々に性能の特徴がある。夏用タイヤは、DRY・WETグリップに優れる一方でICEグリップは劣る。逆に、冬用タイヤはDRY・WETグリップは劣るものの高いICEグリップを発現可能である。そのため、降雪地域では一般的に季節に応じて夏用/冬用タイヤを交換して使用おり、オフシーズンタイヤの保管場所や交換の手間・コスト、廃棄タイヤ増加による環境負荷の増加が問題となっている。また、急な降雪・凍結時に対応できないことは、安全上懸念すべき課題である。これらの課題解決に向け、馬淵らは路面環境変化の要因となる”水”と”温度”に着目した新発想のタイヤ用ゴム技術（“アクティブトレッド”）によってDRY/WET/ICEグリップの向上を達成した。これまで、水はタイヤと路面の間に入り込むことでグリップ低下の原因となるため、排除すべきものと考えられてきたが、その水を活用するという着想から、可逆結合であるイオン結合をゴム中に導入した。これにより、水存在下でゴムが軟化しDRY路面とWET路面の制動距離差がほぼなくなることをタイヤで実証した。本技術は2023年のJAPAN MOBILITY SHOW 2023にて公開され、さらに本技術の一部を搭載したタイヤ「SYNCHRO WEATHER（シンクロウェザー）」を2024年秋より販売している。以上の成果は、ゴム産業の科学・技術の発展に大きく寄与する極めて顕著な業績であると考えられることから、本賞の受賞に十分値するものと認められた。

第63回ゴム技術功績賞審査報告

ゴム技術功績委員会
委員長 松本 恭一

ゴム技術功績賞は日本ゴム協会創立35周年を記念し、ゴム技術有功賞として設立され、2020年に現在の名称に変更した賞である。本賞はゴム及びプラスチック工業に関する技術の向上に顕著な功績があり、日本ゴム協会及び日本ゴム工業会に貢献のあった本会会員に授与する賞である。第63回ゴム技術功績賞受賞候補者推薦について、ゴム技術功績賞受賞者選定規定に基づき日本ゴム協会誌に告示し、推薦締切日の2024年11月30日までに1件の推薦が本賞選考委員会にあった。2025年2月28日に本委員会を開催し、本賞の趣旨の観点から討議を行い、十分な功績であることを確認した。受賞者選定規定に基づき審議の結果、下記1名の候補者を第63回ゴム技術功績賞候補者として全会一致で選定した。本委員会の審議結果を理事会に報告し、1名の方が受賞者として承認された。

受賞者 大内 康平 氏 （大内新興化学工業株式会社）

受賞理由：大内新興化学工業株式会社は、1961年から2024年にかけて、日本ゴム協会誌の会告にNOC技術ノートとして、ゴムの配合技術に関する内容を毎月掲載されました。No. 1からNo. 759に及ぶこれらの技術ノートは、各種ゴムの多様な配合に関する膨大なデータを網羅し、ゴム製品の開発、製造、応用に関する豊富な知識とノウハウを、わかりやすく、実践的に解説してられました。

NOC技術ノートは、多くの技術者や研究者の指導役を果たし、ゴム業界における技術向上を大いに推進する役割を担いました。常に時代の最先端の情報を取り入れ、最新の知見を惜しみなく共有する姿勢は、ゴム業界全体のレベルアップに大きく貢献しました。有機ゴム薬品の貴重なデータは、過去のゴム製品の機能向上に貢献しただけでなく、今後の若手技術者にとっても貴重な資料となるでしょう。

このように革新的な技術開発と情報発信を通じゴム業界の発展に貢献した功績、特に長年にわたり日本ゴム協会誌の会告にNOC技術ノートを掲載した業績が高く評価され、その活動の推進役であった大内新興化学工業株式会社 会長 大内康平氏の功績を讃え、第63回ゴム技術功績賞を贈ることを決定いたしました。

第72回優秀論文賞審査報告

優秀論文賞推薦委員会
委員長 渡邊 順司

優秀論文賞は日本ゴム協会の創立25周年を記念し、ゴム科学および技術の発展ならびに日本ゴム協会誌の充実を図るために設定されました。過去3年間に日本ゴム協会誌に発表された論文の中から、学術または技術への寄与が認められる論文を選び、その著者に対して授与します。2021年10月号（第94巻 第10号）から2024年9月号（第97巻 第9号）までの3年間に掲載された既受賞論文1件を除く20論文を対象とし、優秀論文賞推薦委員会委員に2件の優秀論文の推薦を依頼しました。その結果、2名以上の委員から推薦があった上位4件の論文について、委員会委員による2件以内連記による無記名投票を行い、上位3件の論文を第一次受賞候補論文として選定しました。この3件の論文について、当職が推薦理由書を作成し、2025年1月27日に2024年度優秀論文賞推薦委員会を開催し、第72回優秀論文賞受賞候補論文の選定について慎重に審議しました。その結果、下記の論文2件を受賞候補論文として決定するに至りました。同日開催された理事会において、2024年度優秀論文賞推薦委員会での選考結果を報告し、審議を経て承認されました。なお、本賞の賞金は大内新興化学工業株式会社のご支援によるものであり、厚く御礼申し上げます。

「NBRの素練りがカーボンブラックの分散に及ぼす影響」日本ゴム協会誌 第96巻 第1号 3-10頁（2023年）

日本スピンドル製造株式会社	岡本浩二
久留米工業高等専門学校	藤 道治
東京工業大学	中嶋 健

NBRが素練りによって細分化され、微粒子化していく現象についてレオロジカルユニットを用いて考察し、その大きさの観点でカーボンブラック（CB）の分散性を検討した論文である。素練りが充分に行われるとゴム内に生じたレオロジカルユニットの比表面積が増大し、CBの微細化と分散に有利に働くことを見いだした。さらに、素練り後のゴム温度を低く保ち、混練りの工程でCBを分散させると分散性が向上できることを明らかにした。以上より、本研究論文は素練りが混練り時のCBの分散性に与える影響について明らかにしており、ゴム科学および技術の発展に寄与すると考えられ、優秀論文賞に相応しいと判断された。

「時分割XAFSを用いた異なる加硫系のゴムにおける加硫時の亜鉛化合物の生成挙動に関する研究」日本ゴム協会誌 第97巻 第5号 119-124頁（2024年）

一般財団法人化学物質評価研究機構	澤田 諭・近藤寛朗
京都大学化学研究所	中西洋平・竹中幹人
京都大学産官学連携本部	柴田基樹・藤波 想・宮崎 司

加硫反応時におけるゴムの主鎖と硫黄の架橋構造に関し、X線吸収微細構造（X-ray Absorption Fine Structure, XAFS）法から、亜鉛化合物の化学状態を明らかにした論文である。SBRの加硫時における時分割XAFSのデータから、加硫促進作用が大きいと亜鉛化合物の生成・消費速度が大きくなることを見いだした。さらに、硫黄と加硫促進剤の組み合わせにより、混練り時にステアリン酸亜鉛の生成反応が促進することを明らかにした。以上より、本研究論文は加硫系の違いにより生成する亜鉛化合物の種類と生成時期について明らかにしており、ゴム科学および技術の発展に寄与すると考えられ、優秀論文賞に相応しいと判断された。

第80回ゴム技術進歩賞審査報告

一般社団法人日本ゴム協会
ゴム技術進歩賞委員会
委員長 渡邊 智子

ゴム技術進歩賞は、日本ゴム協会創立15周年（1943年）を記念して設けられ、終戦後の1947年から村岡ゴム工業株式会社のご厚意によってゴム技術の進歩発展に貢献してきた名誉ある賞である。

2024年度は進歩賞の課題として「抗張積最大かつ熱老化試験後の抗張積保持率が最大のリサイクルゴム粉をブレンドした硫黄加硫天然ゴム」を設定し、会員各位からの応募を募った。期限までに日本ゴム協会正会員から4件の応募をいただき、委員会審議を経て下記の受賞者を決定した。

第80回ゴム技術進歩賞受賞者 三ツ星ベルト株式会社 逸見 祐介 氏

審査経緯は下記に示す通りである。

1. 研究課題の設定

2024年7月22日に開催されたゴム技術進歩賞委員会において、「抗張積最大かつ熱老化試験後の抗張積保持率が最大のリサイクルゴム粉をブレンドした硫黄加硫天然ゴム」を2024年度の課題とすることに決定した。

制限条件は、本会が指定する天然ゴムとゴム粉（トラック・バスの用済みタイヤを主原料に製造されたロール粉碎粉末ゴム）を使用し、ゴム材料中の天然ゴムの比率はゴムコンパウンド全体の60%以上、ゴム粉は10%以上（質量比）、硬度はA60±10の範囲、加硫は硫黄加硫とし、天然ゴム、ゴム粉以外の配合やゴム粉の化学的・物理的处理は自由とした。

本究課題指定の天然ゴム提供元：エスイーシー化成株式会社、ゴム粉提供元：村岡ゴム工業株式会社

測定条件・評価方法

- ① 硬さ試験：JIS K6253-3：2023に従い、デュロメータはタイプAを用いる。
- ② 引張試験：JIS K6251：2023に従い、ダンベル状3号形試験片を用いて行う。
抗張積 = 引張強さ (MPa) × 切断時伸び (%) とする。
- ③ 熱老化試験：JIS K6257：2017による。試験温度と処理時間はそれぞれ85±1℃、168時間とする。
- ④ 提出試験片の形状：縦150mm±5mm、横150mm±5mm、厚さ2mm±0.2mmのシート3枚（列理方向を明記）
- ⑤ 審査判定条件：1) 抗張積が大きいものから順位付け、及び抗張積保持率が大きいものから順位付けする。
2) 抗張積と抗張積保持率の順位の合計が最も小さいものを1位とする。
3) 順位の合計が同値の場合は、抗張積保持率が最大のものを1位とする。

応募試料の評価機関：応募試料の硬さ試験、引張試験、熱老化試験は、一般財団法人化学物質評価研究機構に依頼する。

以上を日本ゴム協会誌第97巻9号から第98巻1号に会告し、2025年1月31日を締切りとして募集した。

2. 提出試料の評価

提出された試料は一般財団法人化学物質評価研究機構に硬さ試験、引張試験、熱老化試験を依頼した。2025年2月28日にオンライン委員会を行い、応募者からの配合レシピ、自社データ等の提出内容と一般財団法人化学物質評価研究機構での測定結果を併せて慎重に審議した。

3. 受賞者の決定

一般財団法人化学物質評価研究機構での引張試験、熱老化試験をもとにした順位付けの結果から、逸見氏を受賞候補者として、理事会に提案することを決定した。

第17回日本ゴム協会科学技術奨励賞審査報告

日本ゴム協会科学技術奨励賞委員会

委員長 山本 勝宏

日本ゴム協会科学技術奨励賞は、本会創立50周年を記念して設定された日本ゴム協会科学技術奨励金を見直し、2008年よりゴムおよびプラスチックに関連する科学および技術の進歩発展に寄与する研究または調査を行っている研究者（本会会員）に毎年1件、副賞20万円を授与するものである。

第17回日本ゴム協会科学技術奨励賞の募集要項を2024年の日本ゴム協会誌9月号から11月号に会告として発表し、11月30日までに1件の応募（推薦）があった。

2025年2月28日に、2024年度第1回日本ゴム協会科学技術奨励賞委員会を開催し、第17回日本ゴム協会科学技術奨励賞受賞候補者選定について慎重に審議した。その結果、下記の研究題目で推薦された候補者1名を第17回日本ゴム協会科学技術奨励賞受賞候補者候補者とし、理事会にて承認された。

受賞者：三輪 洋平 氏（岐阜大学）

研究の名称：二酸化炭素によって物性・機能の制御可能なエラストマー材料の開発

受賞理由：

従来の熱や光、電場・磁場などの様々な外部刺激に応答して物性や機能を変化させるエラストマー材料は数多く開発されている。受賞者は、常温・常圧の気体をエラストマー材料の機能制御に利用する研究を進めてきた。その中で、二酸化炭素に着目し、それに応答して物性機能を劇的に制御できるエラストマーを開発した。特に、自己修復性、粘着特性の可逆変化など新規でユニークな特長を見出している。一連の研究成果は、温室効果ガスである二酸化炭素の回収や有効活用にも関連する研究への発展も見据えており、ゴム・エラストマーの物性制御のみにとどまらず、様々な科学技術発展に大きく貢献するものと認められる。これらの成果は、本奨励賞の趣旨に合致するものと考え、日本ゴム協会科学技術奨励賞を授与することを決定した。

第18回CERI若手奨励賞審査報告

日本ゴム協会科学技術奨励賞委員会

委員長 山本 勝宏

CERI若手奨励賞は、2007年に一般財団法人化学物質評価研究機構から若手を対象とする奨励制度の申し出により新設されたものであり、日本ゴム協会科学技術奨励賞の一つとして、ゴムおよびプラスチックの評価・加工等の科学技術の進歩に寄与する若手研究者（本会会員）に毎年1件、副賞20万円を授与するものである。

第18回CERI若手奨励賞の募集要項を2024年の日本ゴム協会誌9月号から11月号に会告として発表し、11月30日までに1件の応募（推薦）があった。

2025年2月28日に2024年度第1回日本ゴム協会科学技術奨励賞委員会を開催し、第18回CERI若手奨励賞受賞候補者選定について慎重に審議した。その結果、下記の研究題目で推薦された候補者を第18回CERI若手奨励賞受賞候補者として選定し、理事会で承認された。

受賞者：木田 拓充氏（滋賀県立大学）

研究の名称：Rheo-Raman分光法を用いたゴム・エラストマー材料の力学挙動解析

受賞理由：

受賞者はラマン分光法と引張試験、粘弾性装置を組み合わせたRheo-Raman分光装置を開発し、ゴム・エラストマー材料の様々な変形過程における力学応答を微視的構造変化の観点から解明することを進めている。材料の変形過程でのラマンスペクトルの精緻な解析より熱可塑性エラストマーの一軸延伸過程における、分子鎖に作用する力分布、配向分布などをリアルタイムに観測し、分子鎖の異方的配向挙動を解明した。これにより熱可塑性エラストマーの高い柔軟性と優れた弾性回復の起源を突き止め、変形挙動の本質を解明する重要な成果を得ている。開発した装置は、様々なゴム・エラストマー材料に適用可能であり波及効果が期待でき、関連分野の科学技術発展に大きく貢献するものと認められる。これらの成果は、本奨励賞の趣旨に合致するものと考え、CERI若手奨励賞に決定した。

第16回ブリヂストンソフトマテリアル フロンティア賞審査報告

日本ゴム協会科学技術奨励賞委員会
委員長 山本 勝宏

ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞は、本会創立80周年にあたり、株式会社ブリヂストンから若手研究者の奨励を目的とする顕彰制度の申し出により新設されたものであり、日本ゴム協会科学技術奨励賞の一つとして、ゴム技術・ゴム産業のさらなる発展を期し、ゴム研究者の拡大と育成を図ることを目的として、ゴムおよび将来ゴム技術・ゴム産業に貢献しうる関連分野での先端的研究を奨励し、「ゴムを極める科学技術の構築」「先端的研究のゴム技術への応用展開」「ゴム産業に関係する地球環境の保全」「ゴム産業を通じた社会への貢献」を図る研究を行っている若手研究者に毎年1件、副賞50万円を授与するものであり、これとは別に奨励賞を毎年2件以内、副賞各25万円を授与するものである。

ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞の募集要項を2024年の日本ゴム協会誌9月号から11月号に会告として発表し、11月30日までに2件の応募（推薦）があった。

2025年2月28日に2024年度第1回日本ゴム協会科学技術奨励賞委員会を開催し、第16回ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞受賞候補者選定について慎重に審議した。その結果、下記の研究題目で推薦された候補者1名をブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞受賞候補者、他1名を同奨励賞として選定し、理事会で承認された。

フロンティア賞

受賞者：中川 慎太郎 氏（東京大学）

研究の名称：未踏の力学物性を示す高均一ゴムの創製

受賞理由：

一般にゴムを構成する高分子網目構造は不均一であり、ゴム材料には様々な欠陥が存在する。それがゴムの諸物性の低下をもたらすこととなる。受賞者は、このような欠陥を低減した均一性の高いゴムを創製し、その力学物性が既存材料を凌駕する未踏の領域に到達したことを実証した。大きな破断ひずみと高い破断応力を示すのみならず、顕著なひずみ硬化性を示すことが特長的であり、特にひずみ硬化性が伸長ひずみ結晶化によるものであることを放射光X線散乱測定より明かにした。一連の研究成果はゴム材料としての可能性を拡張する画期的なものであり、ゴムの科学・産業全体へのインパクトは大きい。新規開発したゴムは、優れた伸張性と強靱性、大きなひずみ硬化を有することから、フレキシブルエレクトロニクス、ソフトロボティクスの分野などにおける新素材など、様々な展開が期待される。

本研究成果は、先鋭的研究であると考えられるため、フロンティア賞に決定した。

奨励賞

受賞者：橋本 慧 氏（岐阜大学）

研究の名称：伸長誘起結晶化を利用した高分子網目・イオン液体複合材料の強靱化